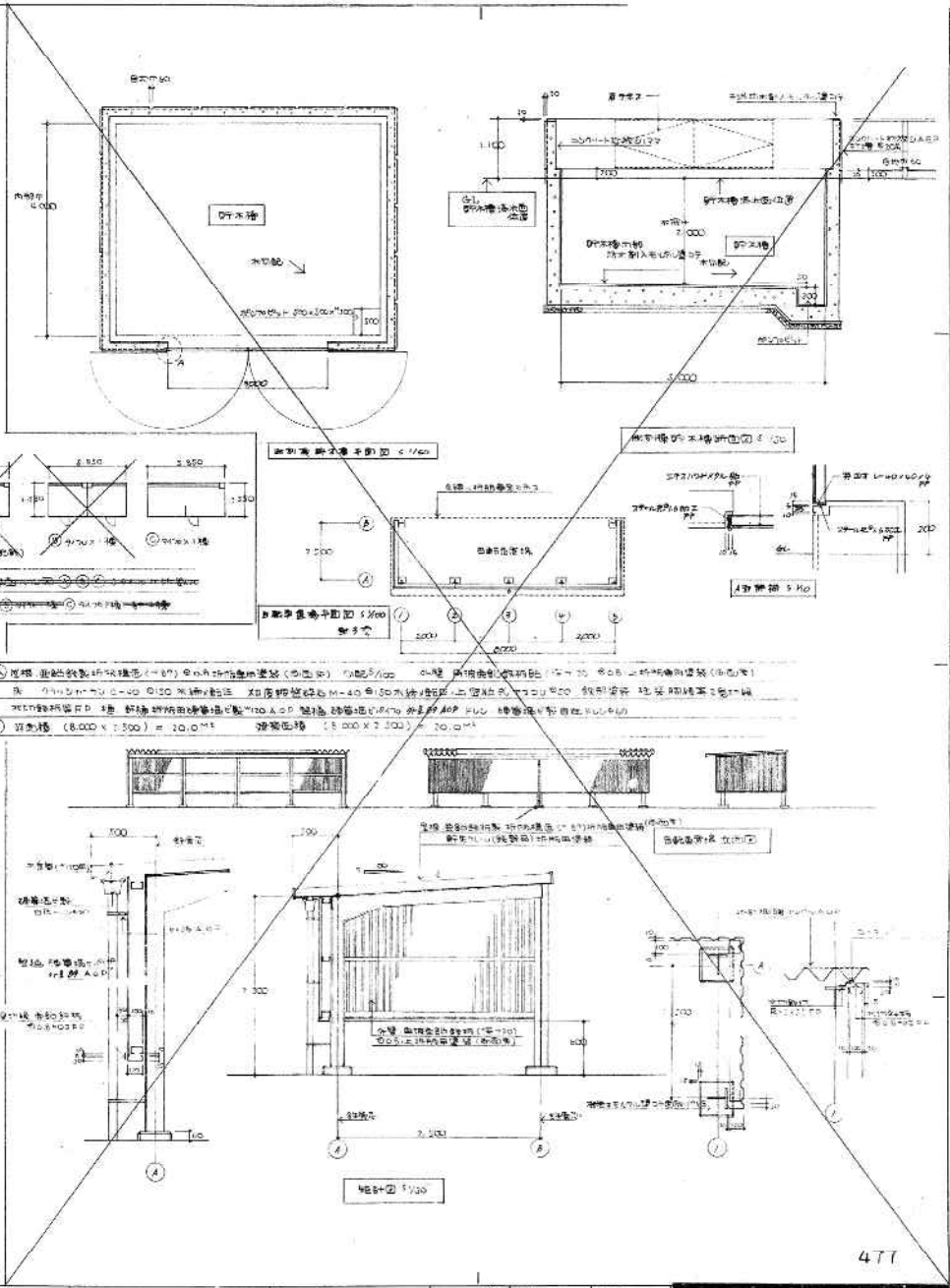
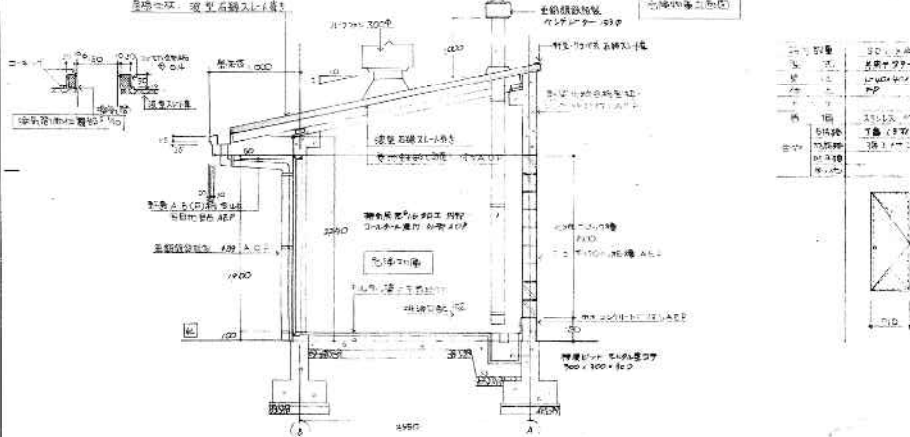
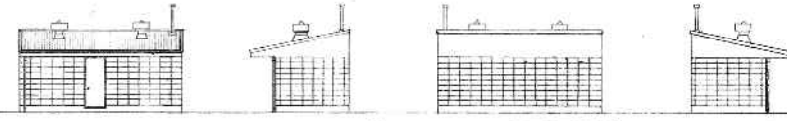
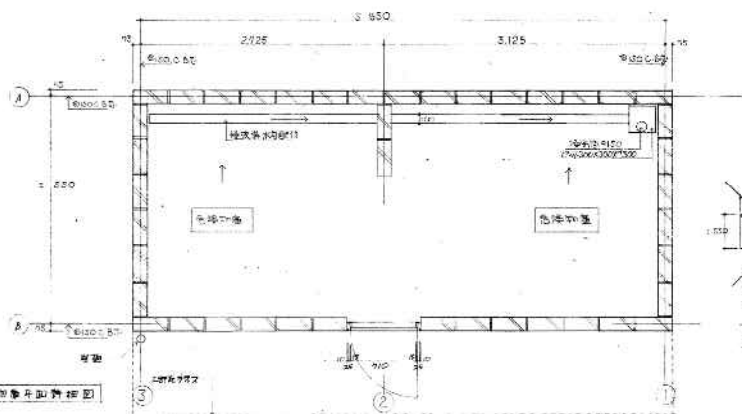


1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

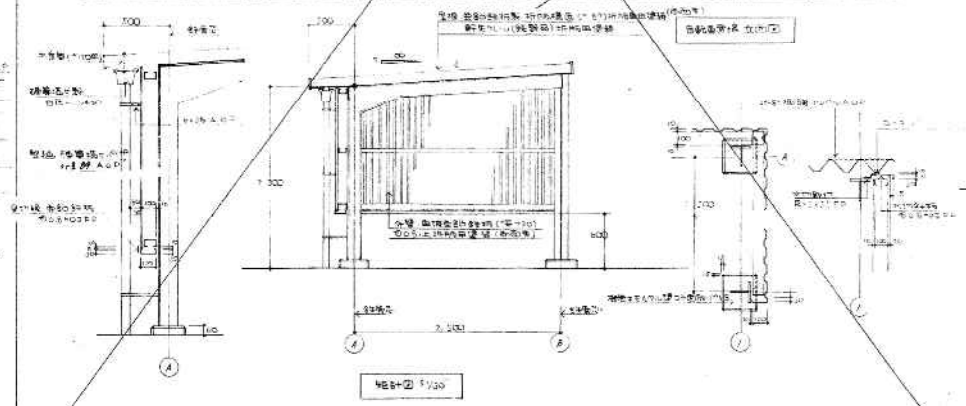
(A) 外観仕様書  
 名称 建築設計事務所 所在地 東京都中央区  
 用途 事務所ビル  
 延床面積 1,400.00㎡  
 完成年月 2010年10月

(B) 主要仕様書

項目	仕様	備考
外装	外壁: 珪藻土系サイディング 屋根: 銅板葺き	
内装	床: 無垢材 天井: 珪藻土系石膏ボード	
設備	空調: 全館空調システム 照明: LED照明	



1. 基礎: 基礎構造はRC造。基礎埋込深さは地盤面より1.5m。基礎断面積は1.5m x 1.5m。  
 2. 柱: 柱構造はRC造。柱径は400mm。柱間隔は3.0m。  
 3. 梁: 梁構造はRC造。梁断面は200mm x 300mm。梁間隔は3.0m。  
 4. 床: 床構造はRC造。床厚は120mm。床下は断熱材を敷く。  
 5. 屋根: 屋根構造はRC造。屋根厚は150mm。屋根上は断熱材を敷く。



477

477

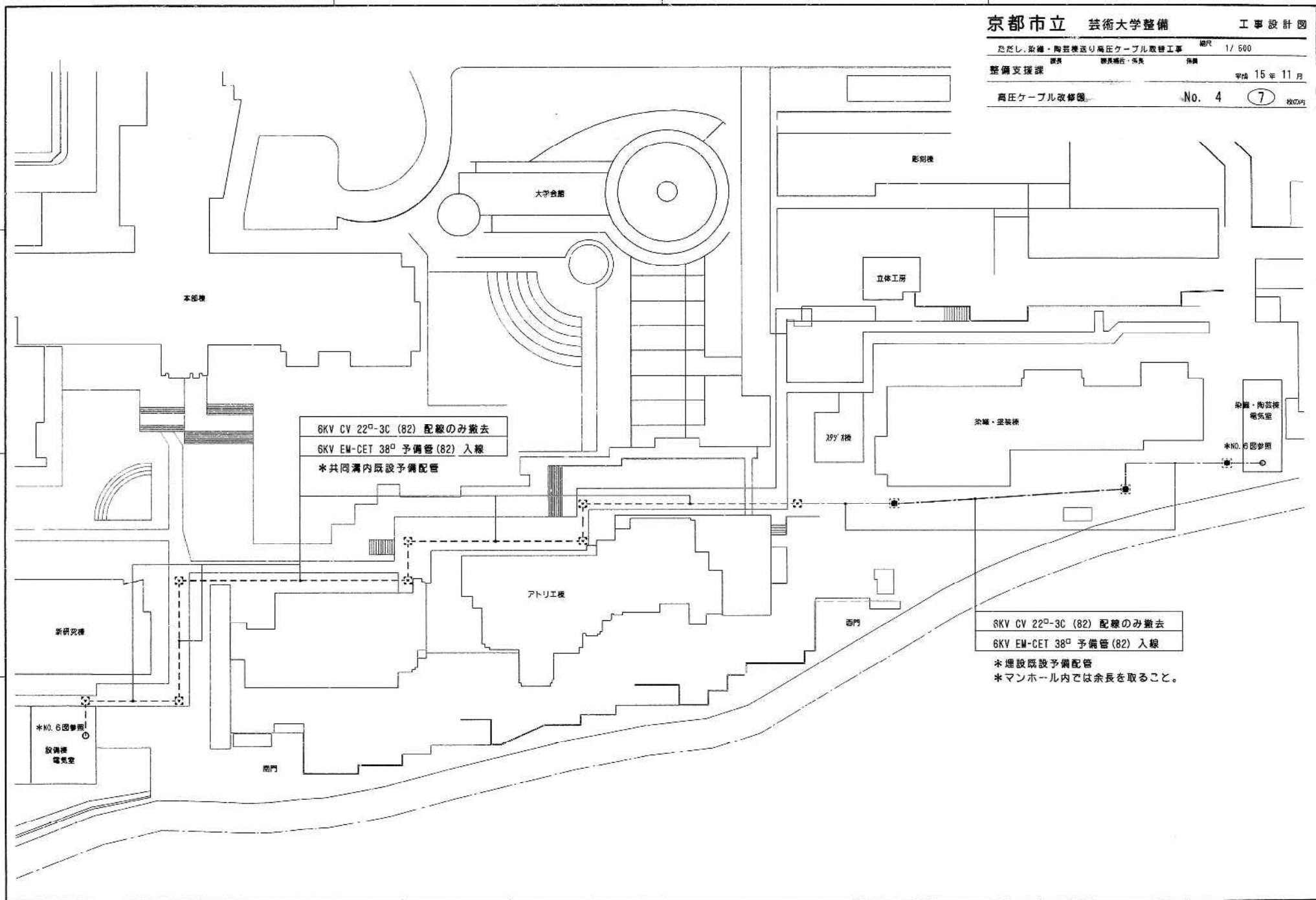


# 京都市立 芸術大学整備 工事設計図

ただし、新編・陶芸棟送り高圧ケーブル取替工事 縮尺 1/500

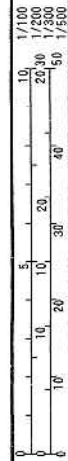
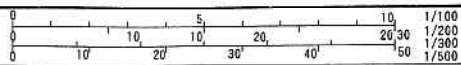
整備支援課 課長補佐・部長 係員 平成 15 年 11 月

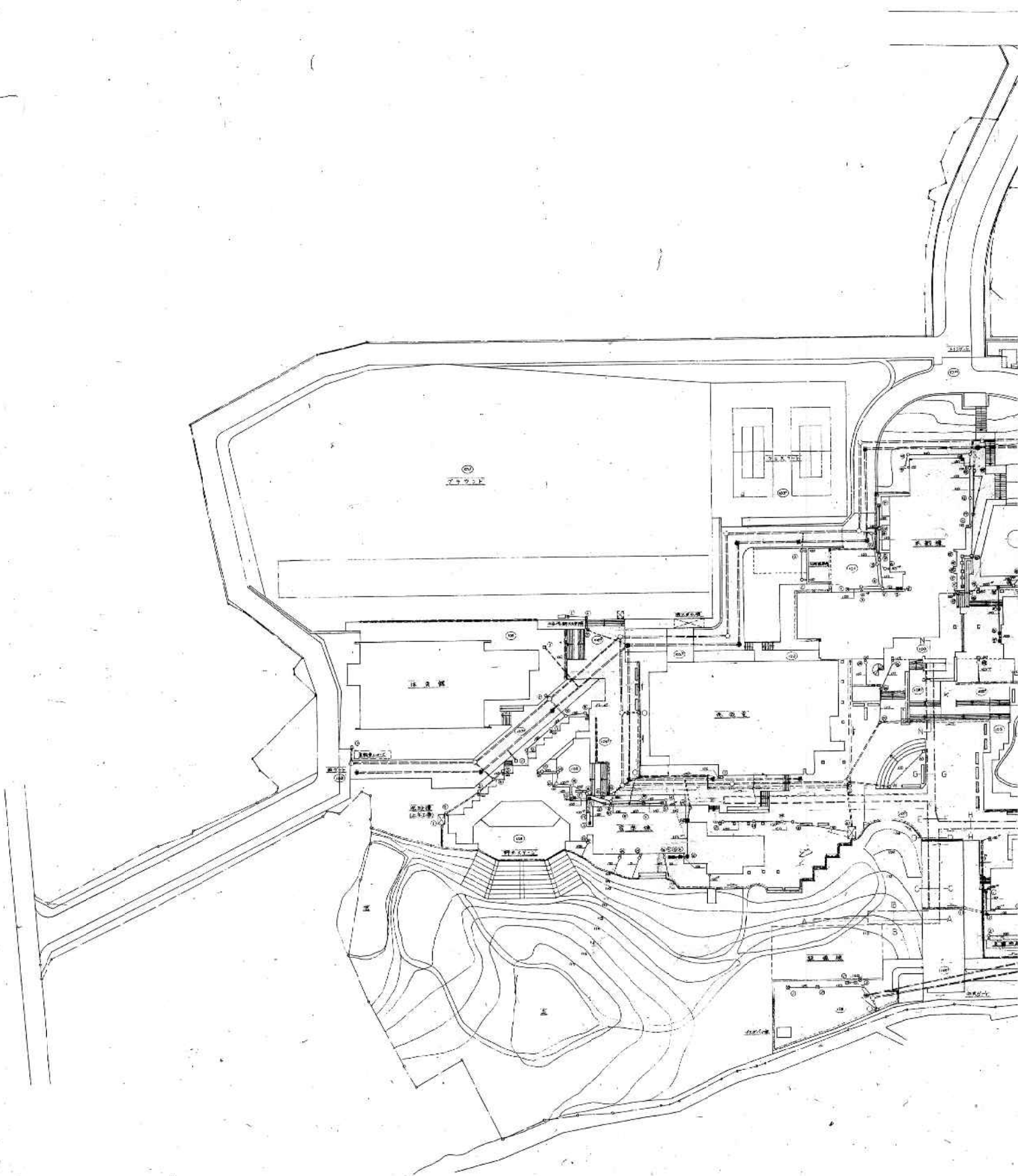
高圧ケーブル改修図 No. 4 (7) 枚の内



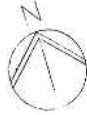
6KV CV 22<sup>φ</sup>-3C (82) 配線のみ撤去  
 6KV EM-CET 38<sup>φ</sup> 予備管 (82) 入線  
 \*共同溝内既設予備配管

6KV CV 22<sup>φ</sup>-3C (82) 配線のみ撤去  
 6KV EM-CET 38<sup>φ</sup> 予備管 (82) 入線  
 \*埋設既設予備配管  
 \*マンホール内では余長を取ること。

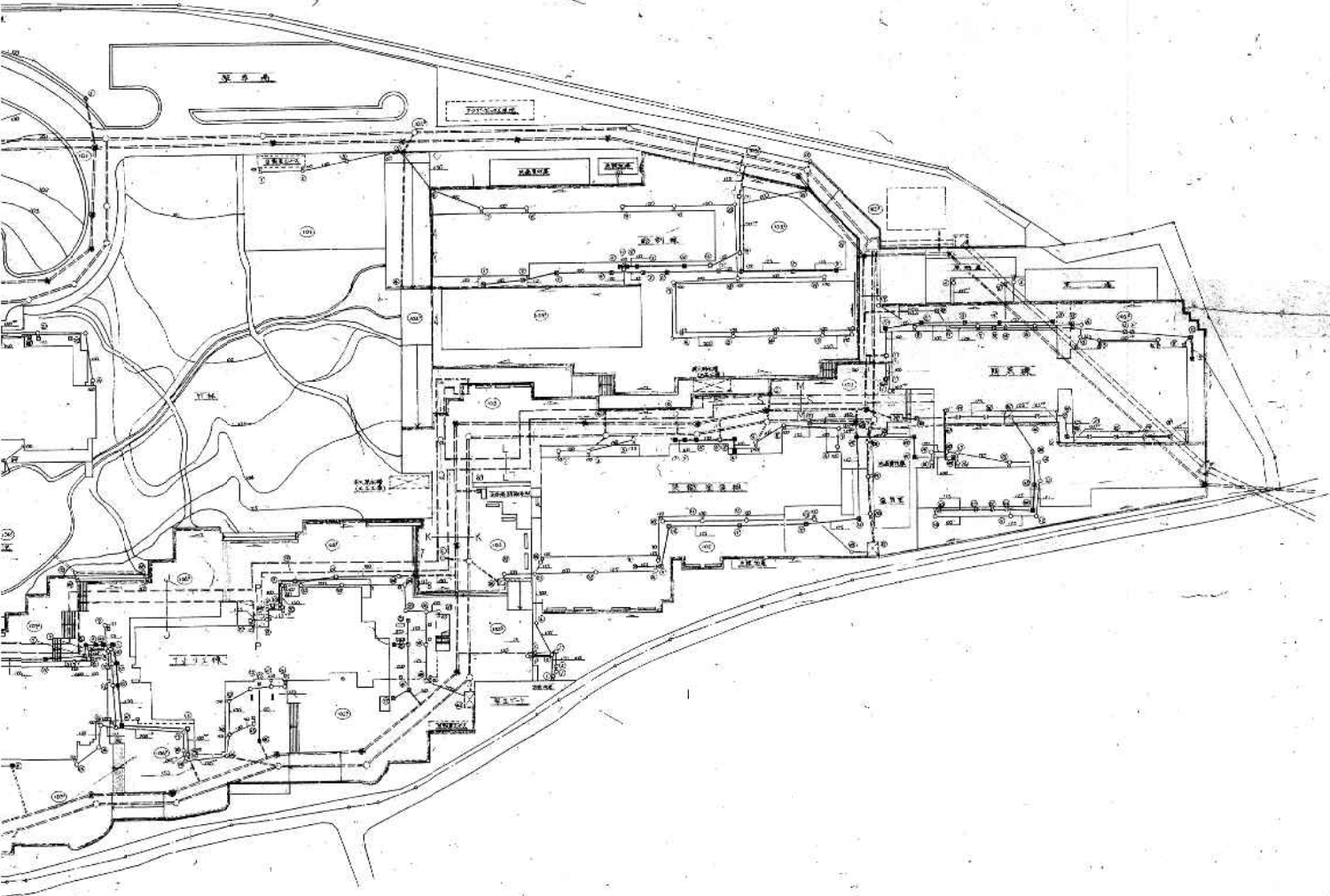




# 設計變更圖

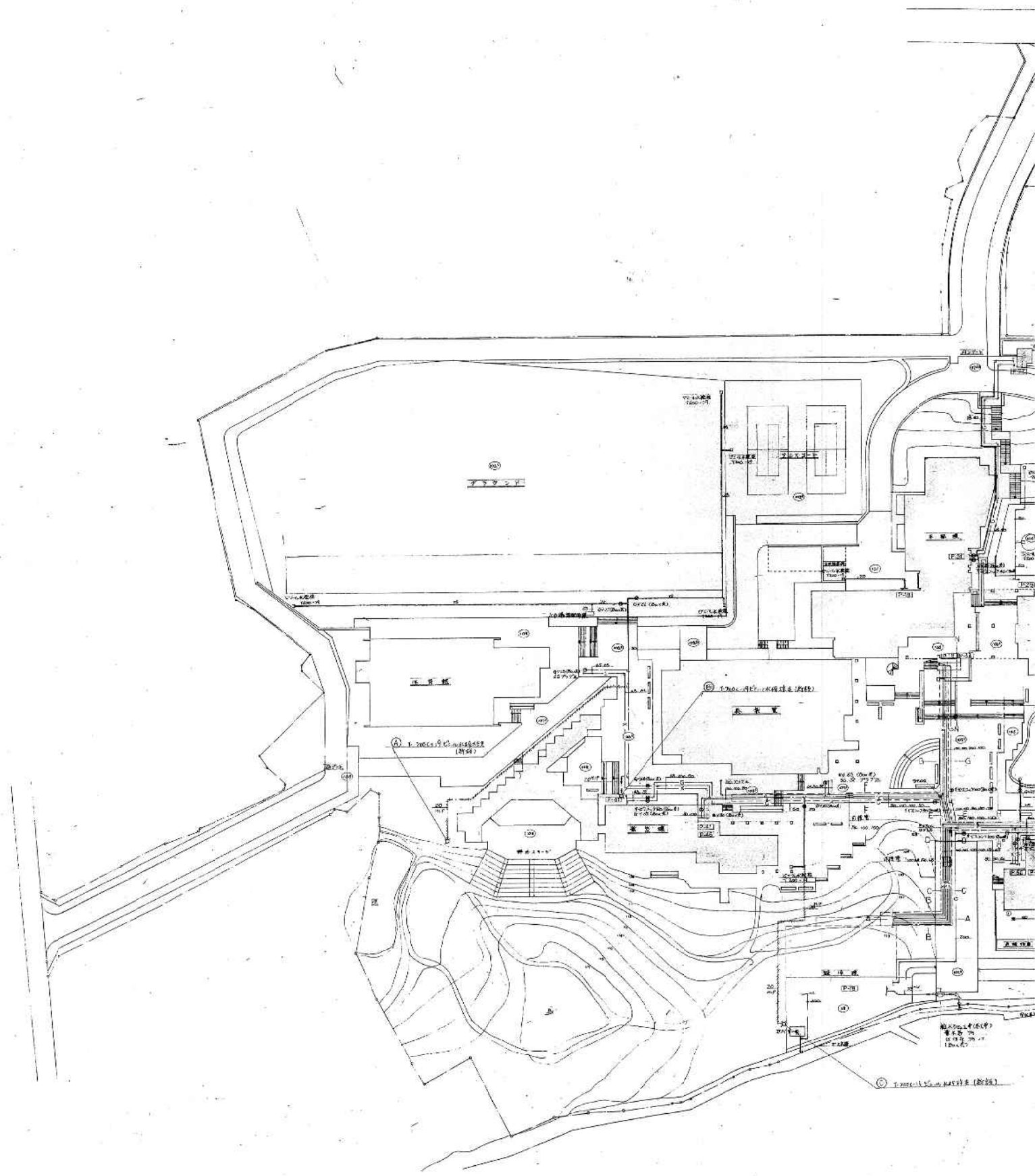


- 凡例
- 大橋部土木部施工部會同設計
  - 臨時用地
  - 設計變更區域(原設計)部分
  - 新基礎位置(新設計)
  - 新基礎(原設計)
  - 新基礎(新設計)



京都市  
住宅局建設課

京都市立芸術大学 修繕工事	設計變更圖 1	縮尺 1/500	1/3	1/
大橋部 建築・設備設計課	清水 龍樹	1992.04.11		

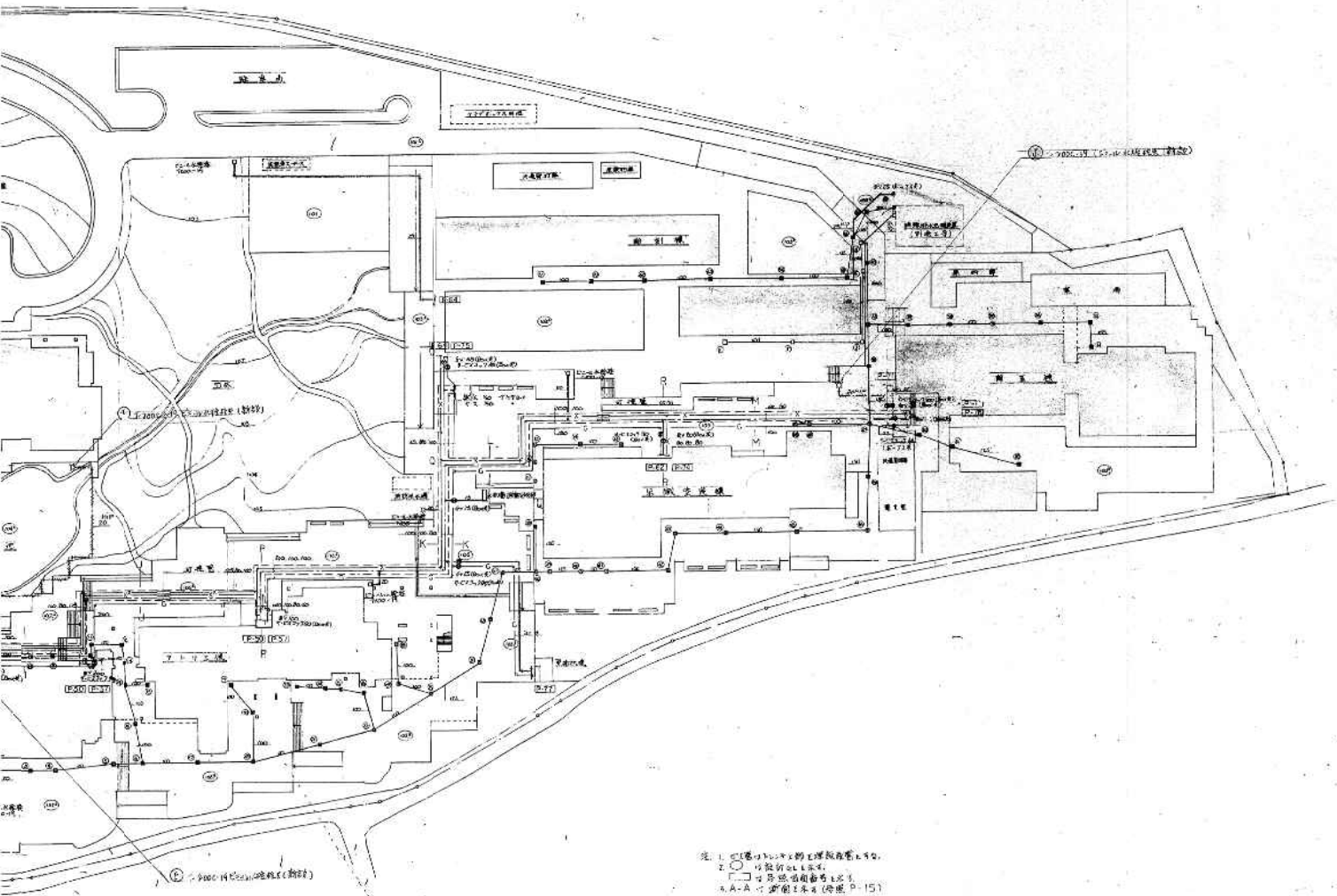
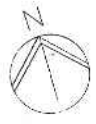


# 變更設計圖

1-7 增加原有附屬建築(原址)之附屬建築(原址)之附屬建築  
 1-10 增加原有附屬建築(原址)之附屬建築(原址)之附屬建築

月 19日

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺
- 新增建築範圍
- 新增建築範圍



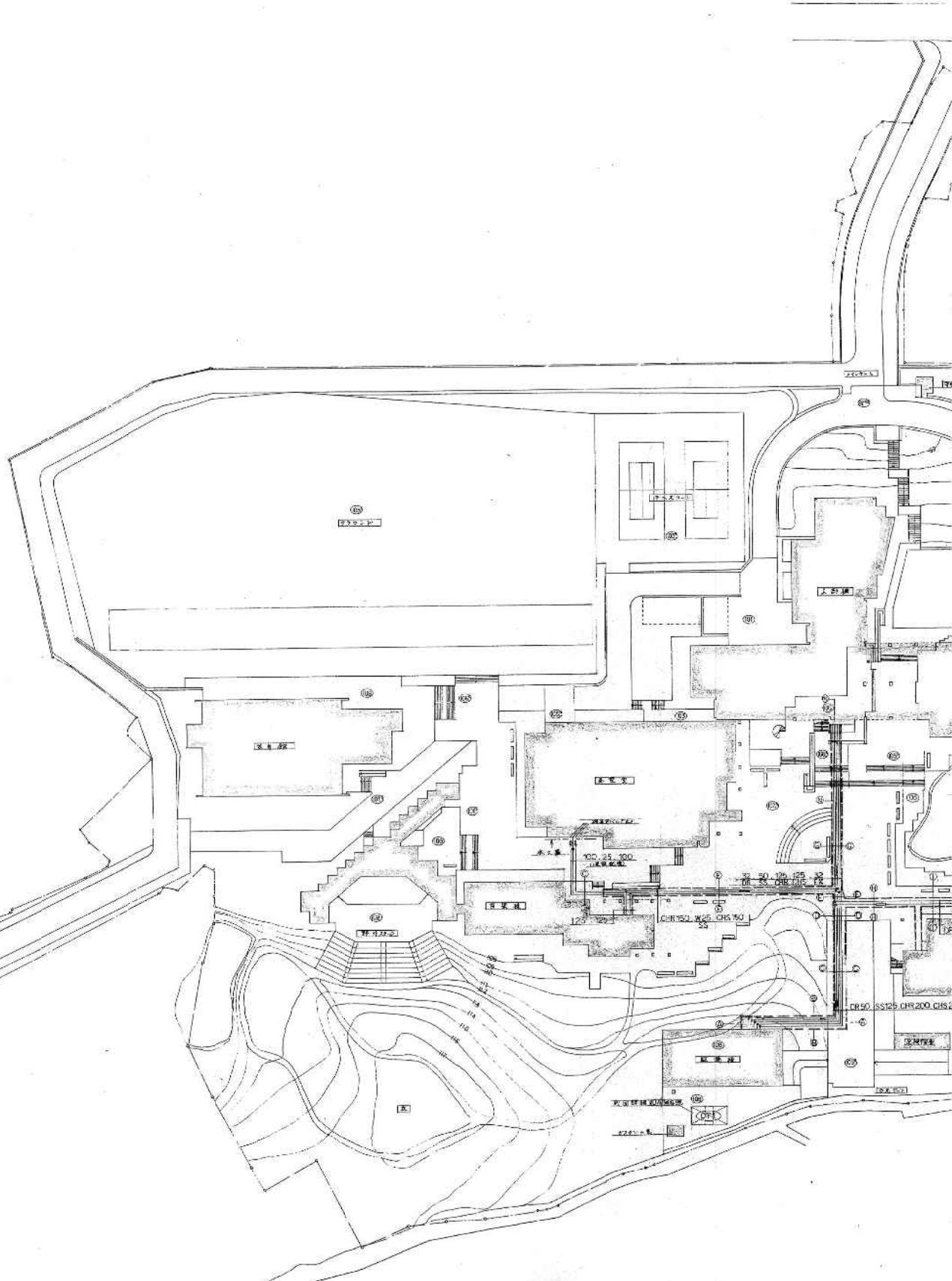
注：1. 凡( )內之數字均指樓層高度。  
 2. 凡( )內之數字均指樓層高度。  
 3. 凡( )內之數字均指樓層高度。  
 A-A：剖面圖(附圖 P-15)



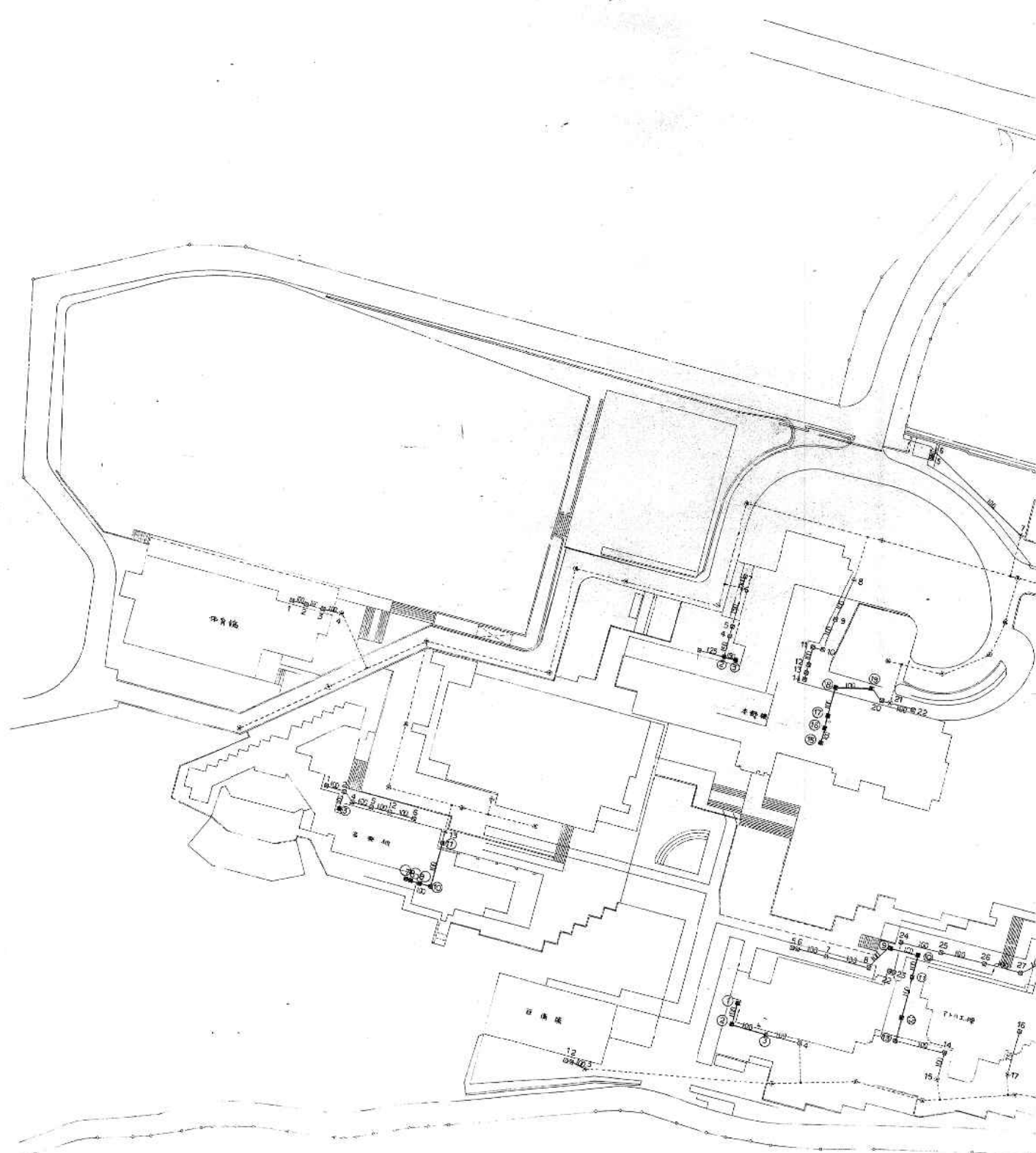
住宅設計圖

設計者	監工	繪圖	日期	比例	頁數	總頁數
建築師事務所	建築師事務所	建築師事務所	1998.11.15	1/3	2	3

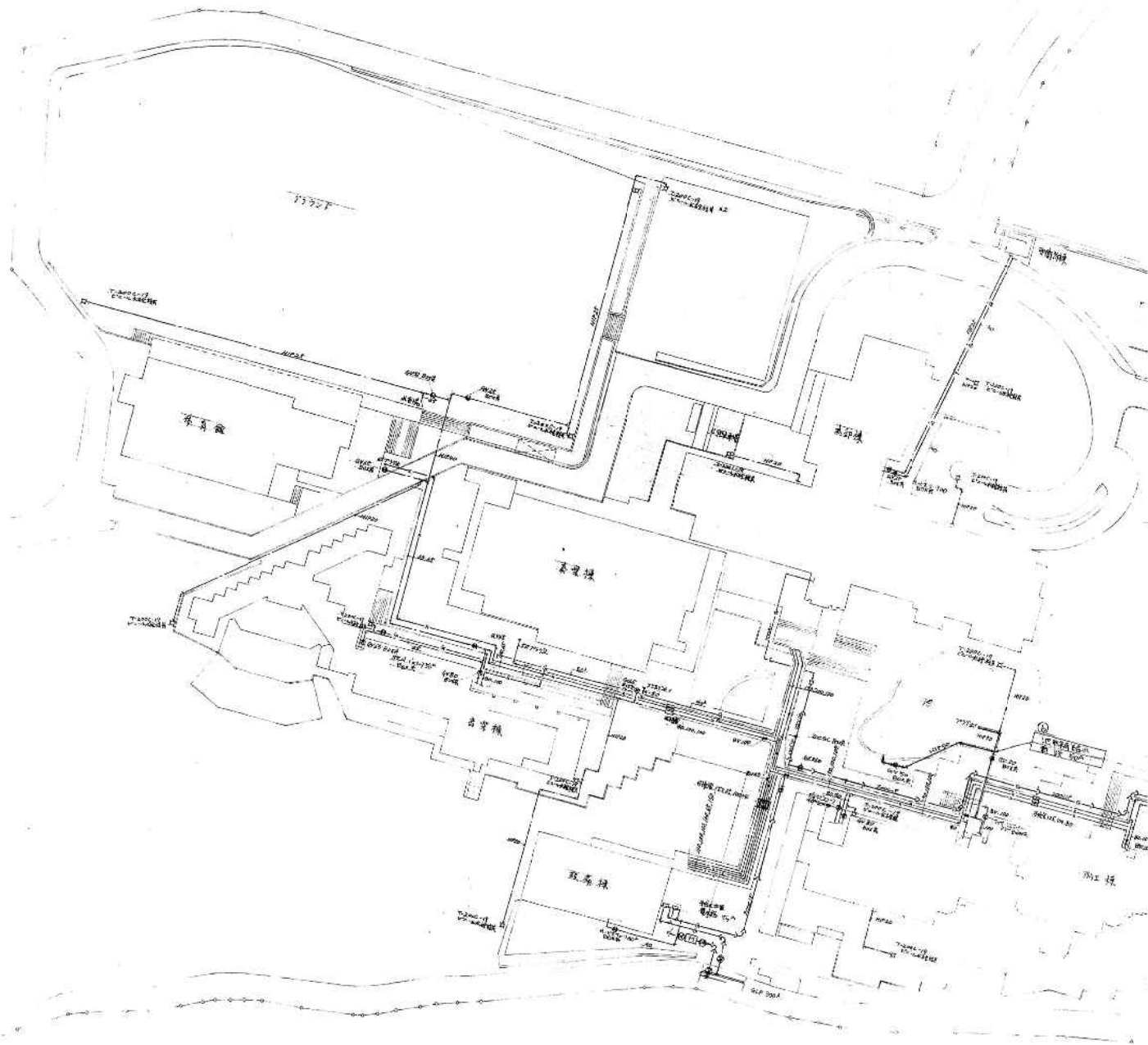
007



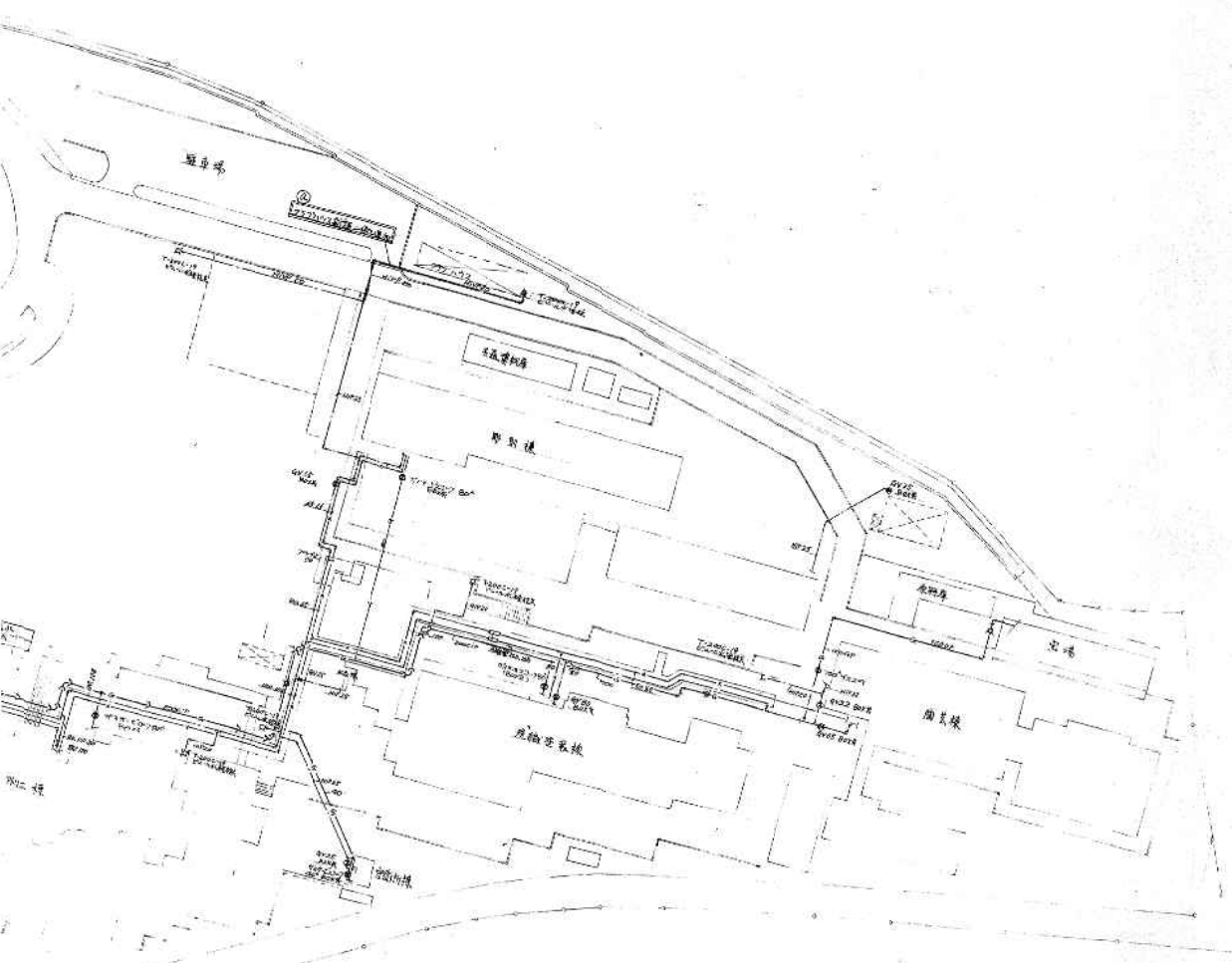




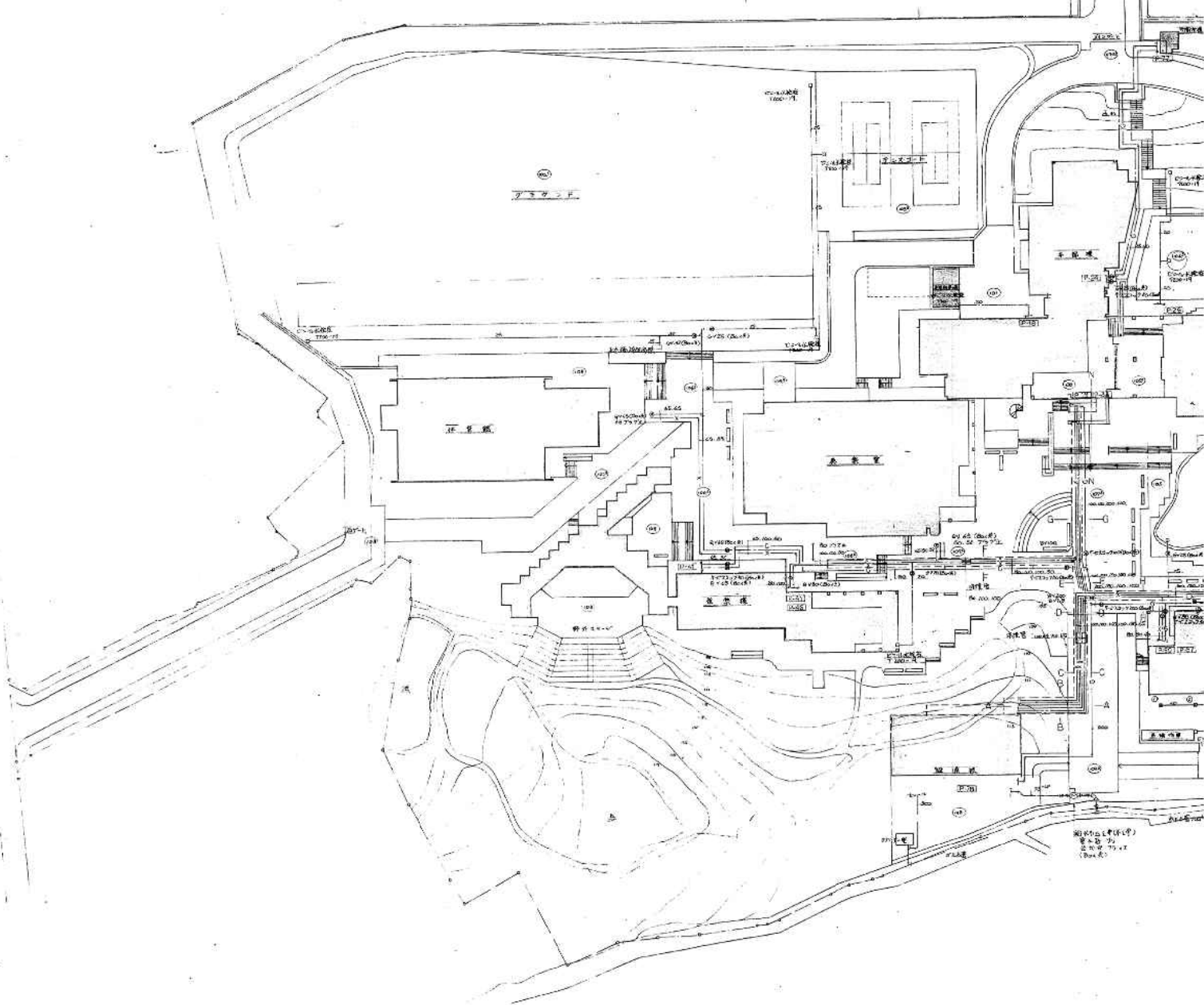


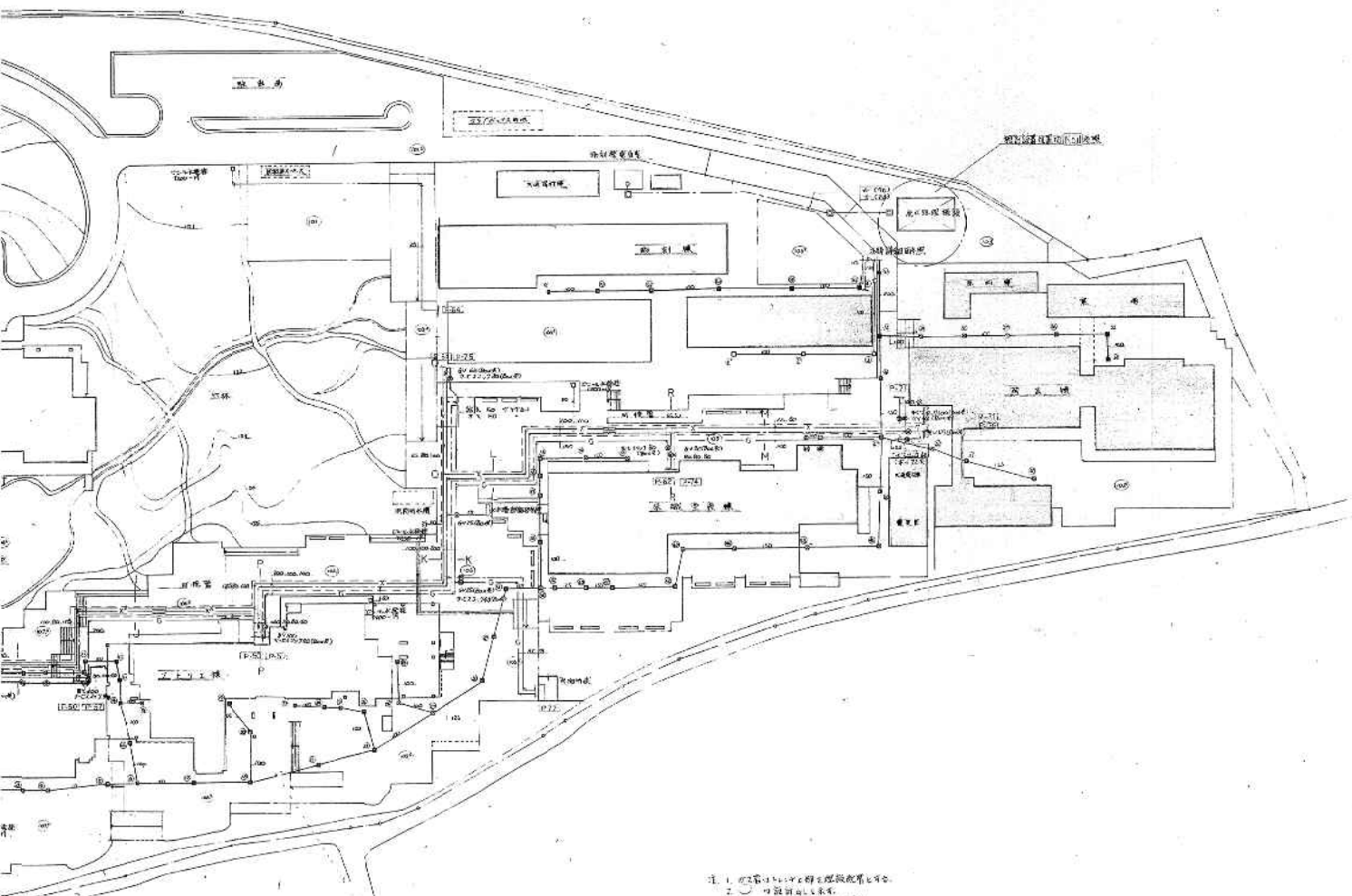


1:1  
 水鏡影射法  
 地盤照像法  
 R 222/1025新設設備 T-2000-1912-6-水鏡影射法  
 地盤照像法 T-2000-1912-6-水鏡影射法



工務局	京都市長官官舎新築工事	敷地 1,500	CM	3/11
建設局	新築官舎新築工事	坪単 55.3		

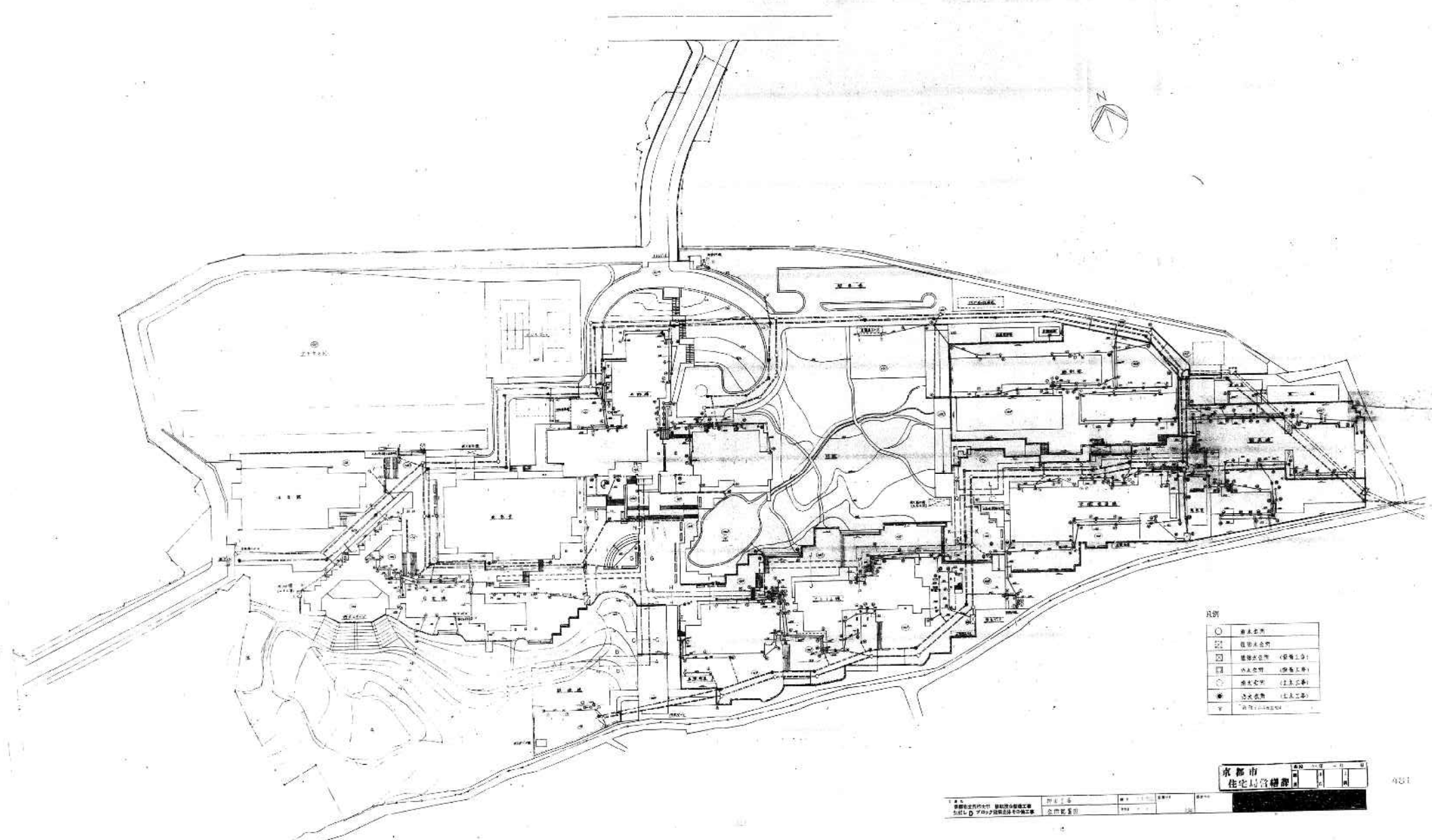




1. 此圖為1:500比例之建築設計圖  
 2. 圖中尺寸以公尺為單位  
 3. 各層樓面圖另有圖說

圖名：[ ]  
 圖號：[ ]

臺灣省立師範大學 師範教育系 建築設計 建築設計系	比例尺 1:500 50.4	圖號 5	日期 [ ]
------------------------------	----------------------	---------	-----------

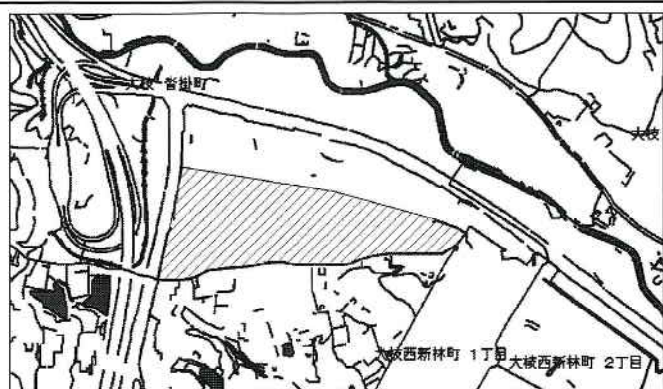


凡例

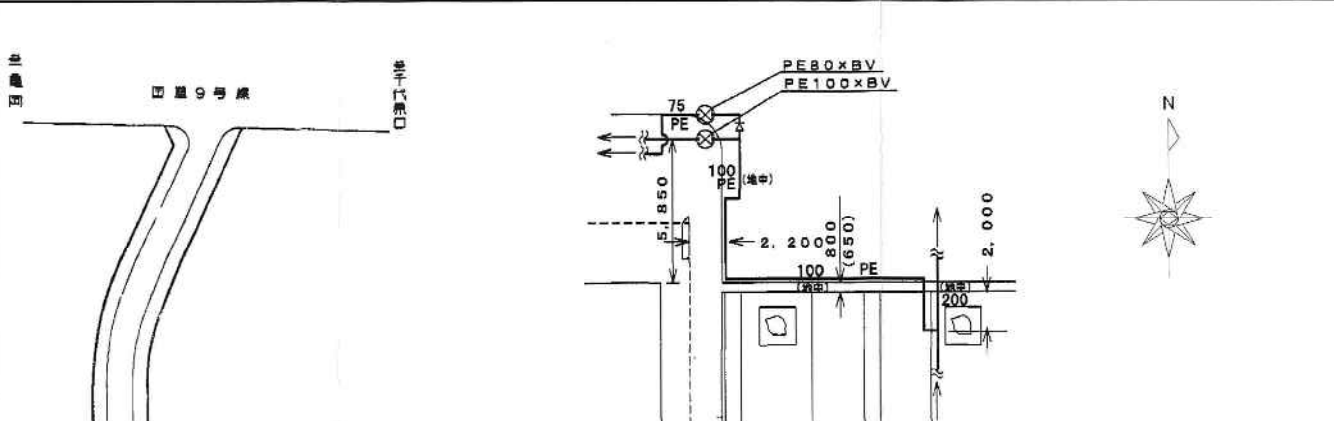
○	基本名称
□	建築名称
□	建築名称 (原画工号)
□	水先名称 (原画工号)
○	水先名称 (注工工号)
●	水先名称 (注工工号)
▽	水先名称 (注工工号)

京都市  
住宅局管轄地

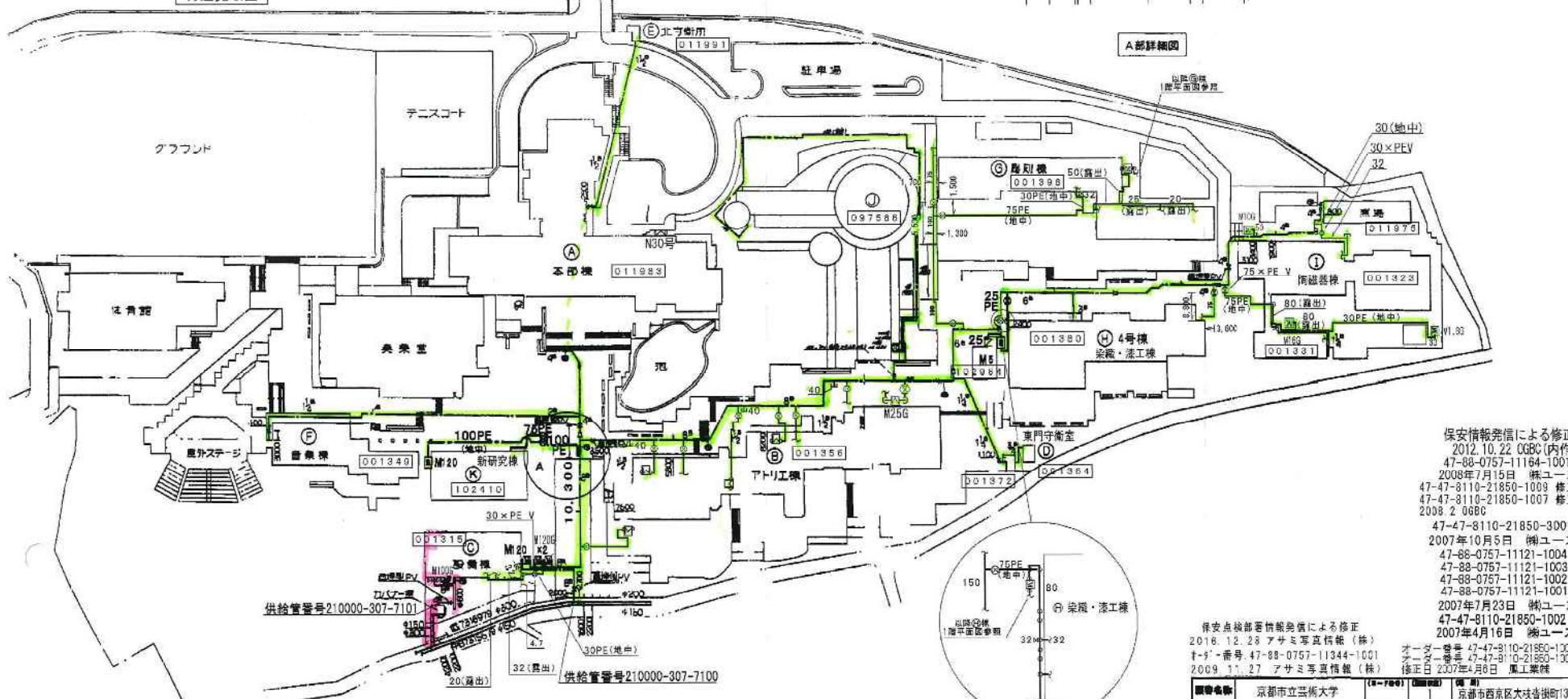
1. 京都市住宅局 住宅局管轄地	2. 京都市住宅局 住宅局管轄地	3. 京都市住宅局 住宅局管轄地	4. 京都市住宅局 住宅局管轄地	5. 京都市住宅局 住宅局管轄地	6. 京都市住宅局 住宅局管轄地	7. 京都市住宅局 住宅局管轄地	8. 京都市住宅局 住宅局管轄地	9. 京都市住宅局 住宅局管轄地	10. 京都市住宅局 住宅局管轄地
------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	------------------	-------------------



付近見取図



A部詳細図



配置図

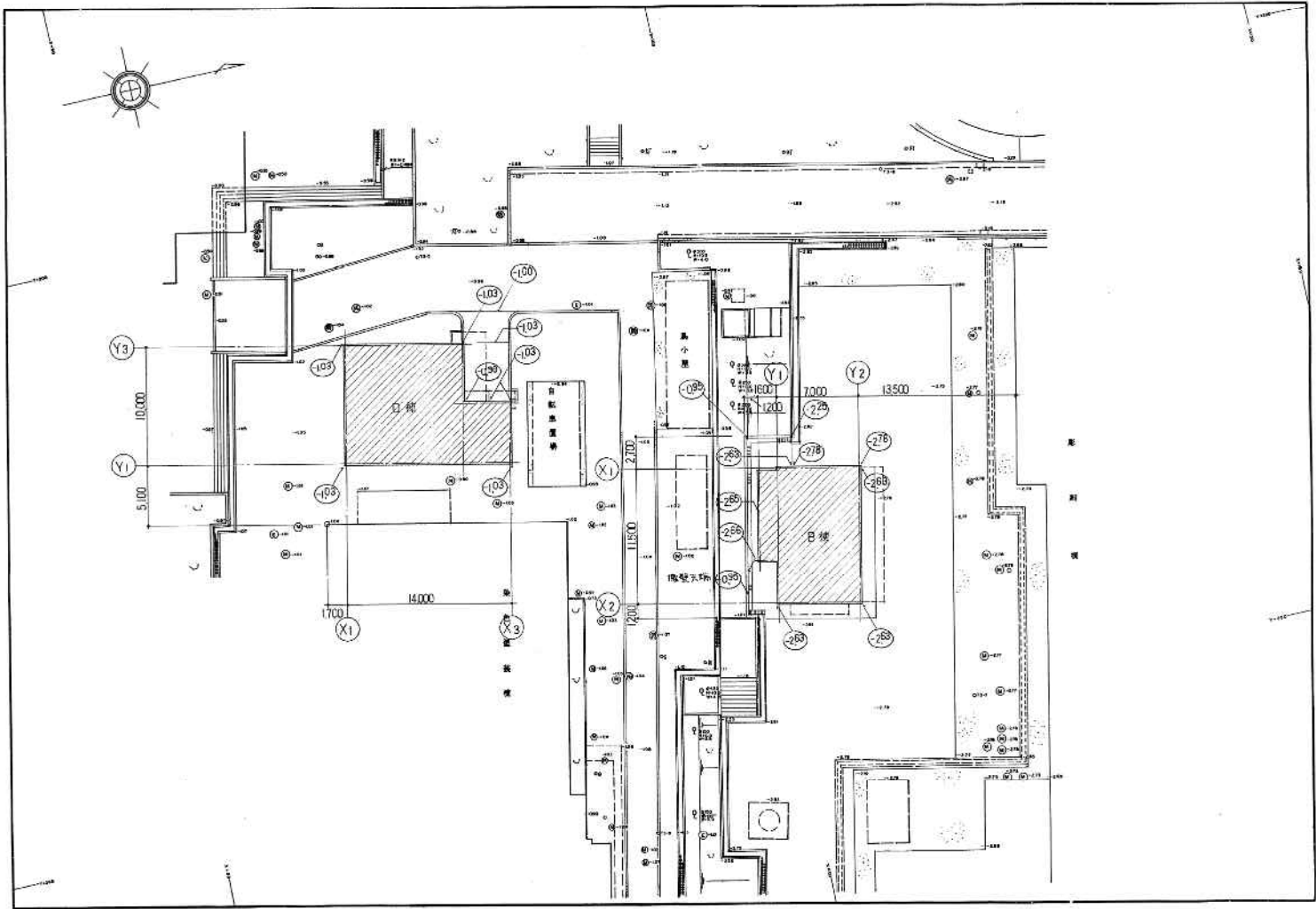


保安情報発信による修正  
 2012.10.22 CGBC(内作)  
 47-88-0757-11164-1001  
 2008年7月15日 株式会社  
 47-47-8110-21850-1009 修正  
 47-47-8110-21850-1007 修正  
 2008.2.0686  
 47-47-8110-21850-3001  
 2007年10月5日 株式会社  
 47-88-0757-11121-1004  
 47-88-0757-11121-1003  
 47-88-0757-11121-1002  
 47-88-0757-11121-1001  
 2007年7月23日 株式会社  
 47-47-8110-21850-1002  
 2007年4月16日 株式会社

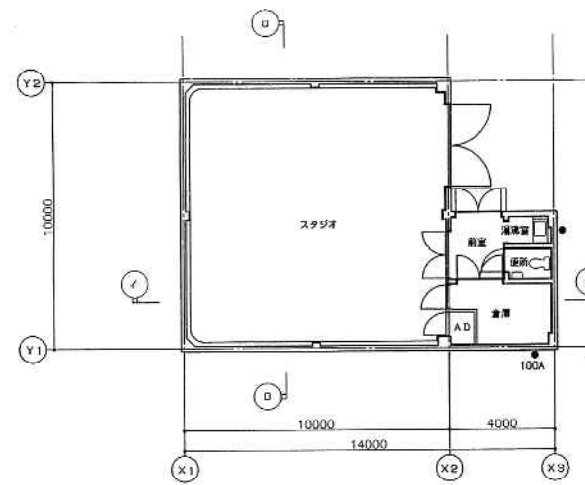
保安点検部情報発信による修正  
 2016.12.28 アサミ写真情報(株)  
 〒9-1-番号 47-88-0757-11344-1001  
 2009.11.27 アサミ写真情報(株) 修正日 2007年4月8日 風工業株

顧客名称	京都市立芸術大学	(〒780)	所在地	京都市西京区大塚町13-6
図面規模	1*2 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	図面 44枚	図面 44枚	図面 44枚
供給管	200 PE 100 PE	200 PE 100 PE	200 PE 100 PE	200 PE 100 PE
取付	メー	メー	メー	メー
取付	メー	メー	メー	メー
取付	メー	メー	メー	メー

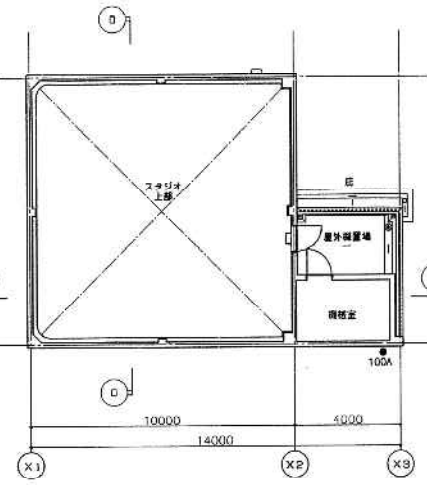
注記：M数不一致につき、確認願います。  
 ガス設備図面利用に際してのご注意  
 一ガス設備所有者の了解無しに、この図面を第三者に開示することはできません。お取扱いには十分ご注意ください。  
 この図面は配管径等を模式的に表したものであり、参考図としてお取扱い下さい。工事などを行う際は必ず現場でガス設備をご確認願います。



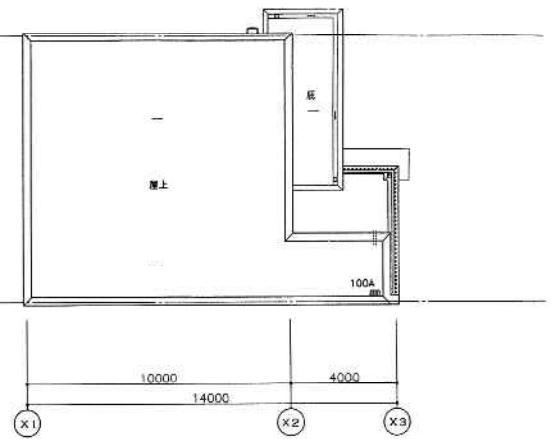
◎ B棟 設計 GL: -2.63 (= TP+103.523)	京都市立芸術大学研究施設新築工事
◎ D棟 " " : -1.03 (= TP+105.123)	屋上建築主体その他工事
	配 置 図 枚 2 (B・D棟)
	縮 尺 1/200
	作 日 10.3.31
	番 号 1998071



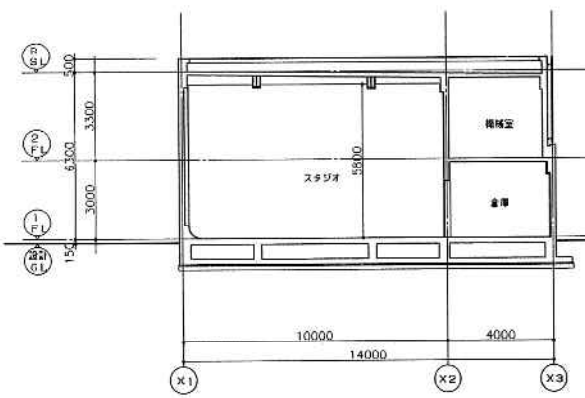
1階平面図



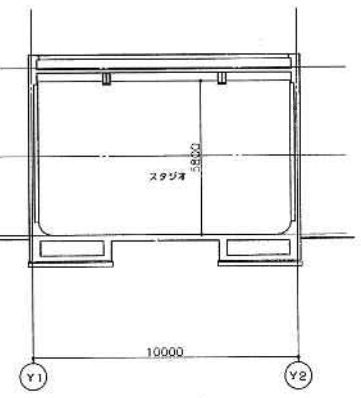
2階平面図



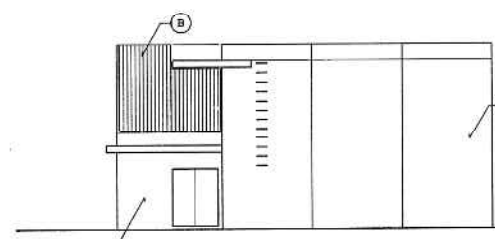
屋根伏図



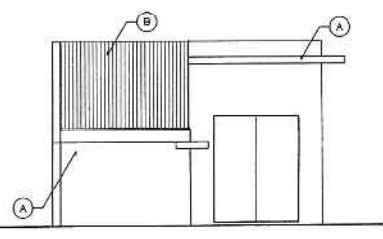
断面図



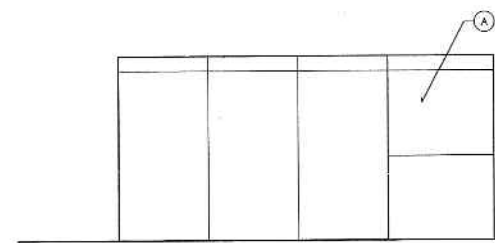
断面図



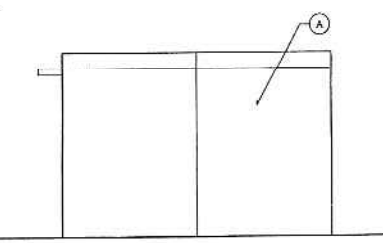
西立面図



北立面図



東立面図

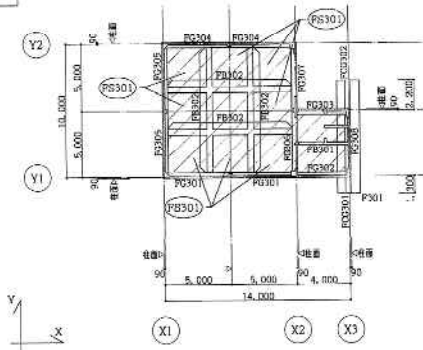


南立面図

凡例 (平面)			凡例 (立面)		
●	設備	特記外B0A (SGP管とす)	(A)	外装吹付材	
○	ルーフドレン	特記外75A	(B)	アルミルーバー	
■	横引ドレン	*			
○	水抜きパイプ	*			
---	オーバーフロー管	*			

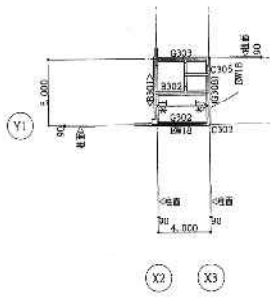
京都市立芸術大学研究施設新築工事  
 旧工機館全体その他工事  
 D棟  
 平・立・断面図  
 縮尺 1/100  
 10.3.31  
 029  
 1998071

注記事項  
1. 床は、壁位置は、大黒柱位置を原則とする。



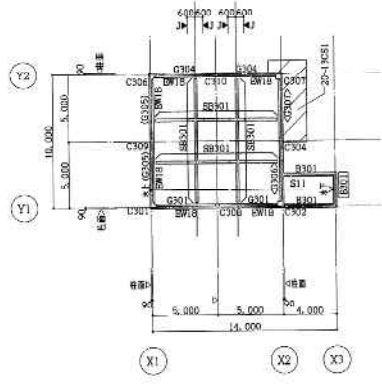
基礎伏図 1/200

共通事項  
1. 基礎断面は、191~193とする。  
2. 基礎梁・基礎小梁断面は、1FL-150とする。  
3. 床は、土間コンクリートとする。(1/200 参照)  
4. 支持層の確認は、地盤調査レポート(214)を参照し、調査結果の範囲内を原則とする。  
5. 沈下量は、5 mm/m<sup>2</sup>とする。



2階伏図 1/200

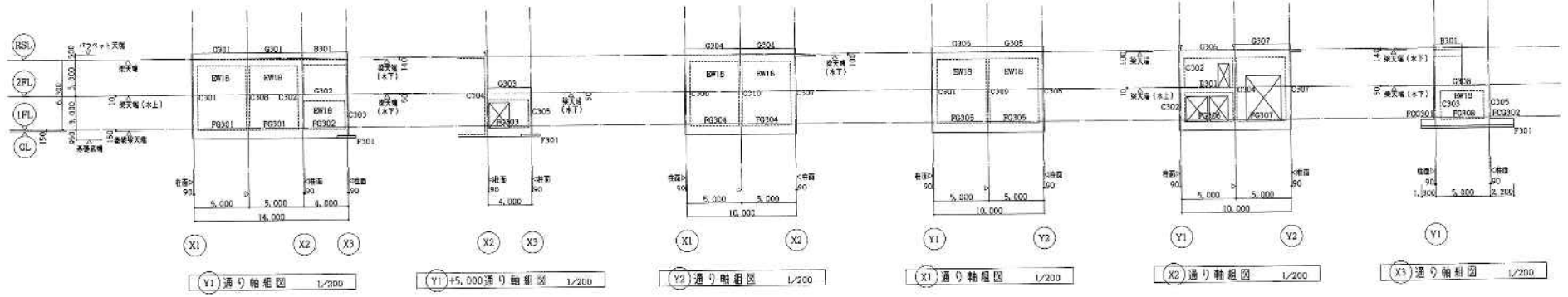
共通事項  
1. 階高は、階下階上による。  
2. 床高は、222-10(床土)~222-90(床下)とする。  
(G) 自然床高は、222-50  
<G> 自然床高は、222-10  
3. 床コンクリート断面は、2FL-10(床土)~2FL-50(床下)とする。  
4. 断面寸法は、S11とし、断面比130とする。  
5. 壁は、W15とする。



R階伏図 1/200

共通事項  
階高は、階下階上による。  
1. 床高は、R2L-10(床土)~R2L-140(床下)とする。  
(R) 自然床高は、R2L-40  
<R> 自然床高は、R2L-100  
(R) 自然床高は、R2L-140  
2. 床コンクリート断面は、R2L-10(床土)~R2L-140(床下)とする。  
3. 断面寸法は、S11とし、断面比130とする。  
4. 壁は、W15とする。

床・梁 レベル凡例  
R2L- (床土)~R2L- (床下) 床コンクリート断面



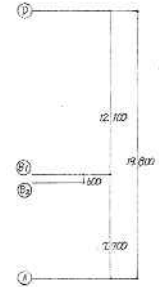
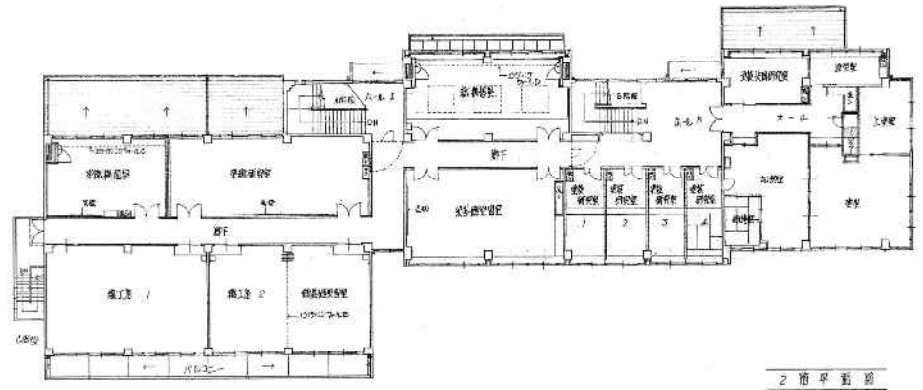
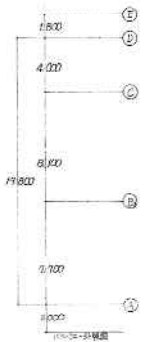
共通事項  
階高は、階下階上による。  
1. 壁は、W18とする。  
2. 床コンクリート断面は、伏図参照。  
3. 床は、砕石とする。

京都市立芸術大学研究施設新築工事  
但し、建築主体その他工事  
D棟(伏図・軸組図)  
1/200  
235 / 10.3.91  
1998071

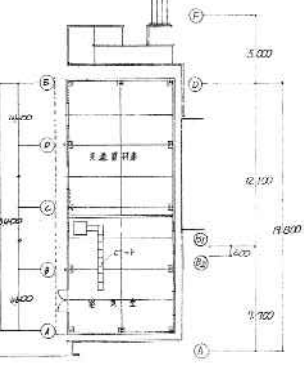
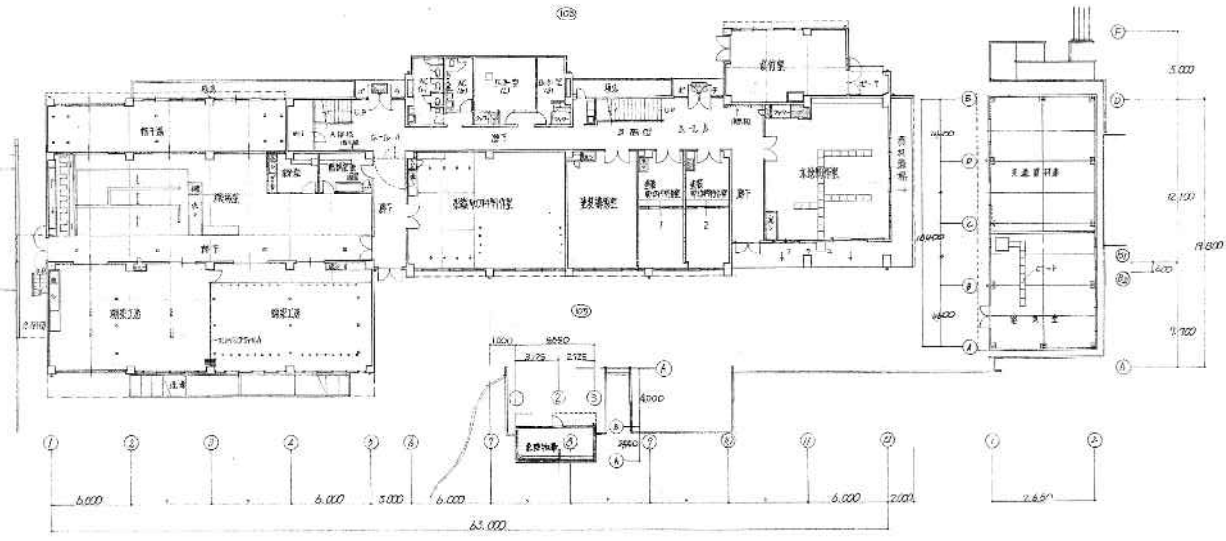








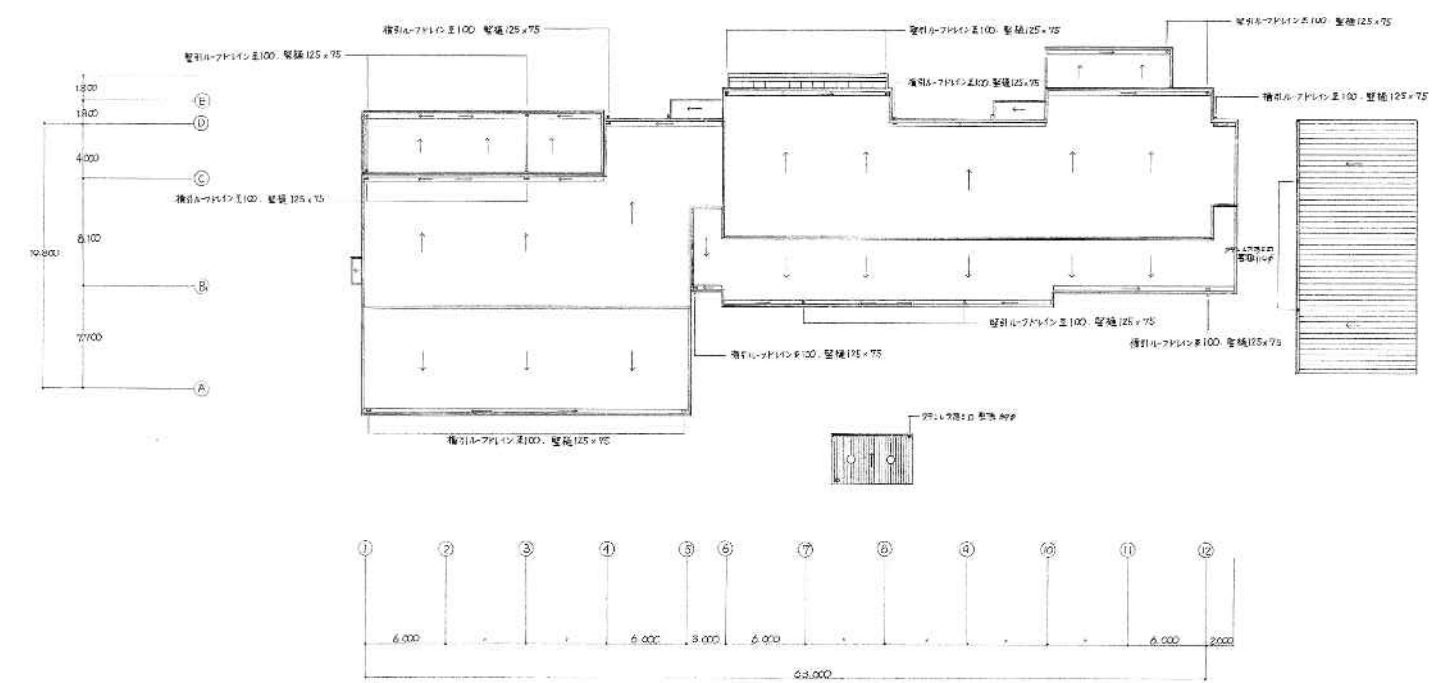
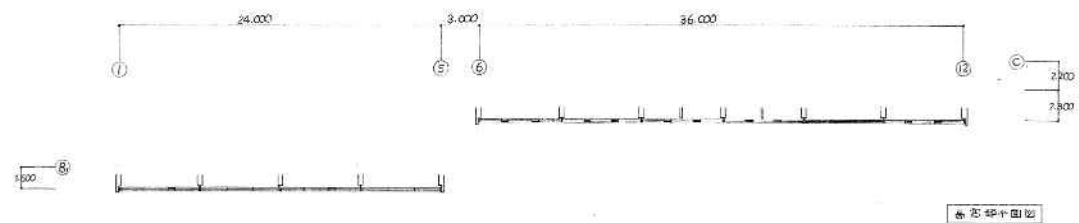
2階平面図



1階平面図

440

440



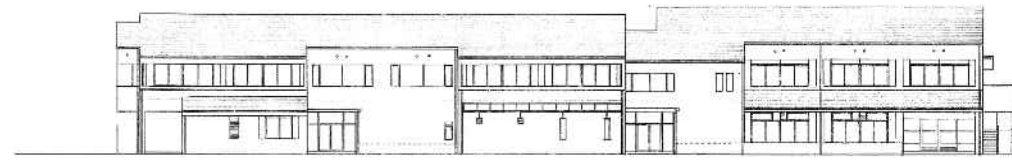
441



正面立面



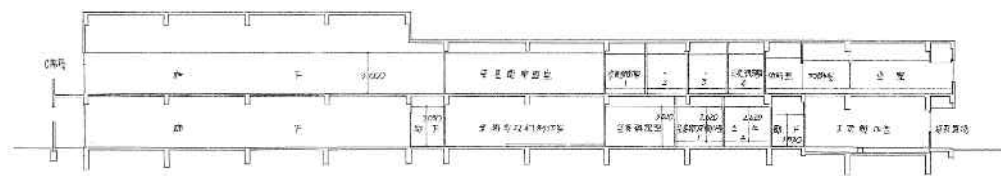
側面立面



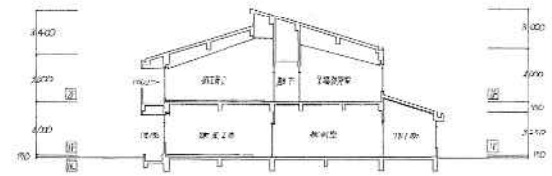
後面立面



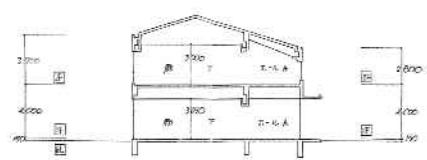
側面立面



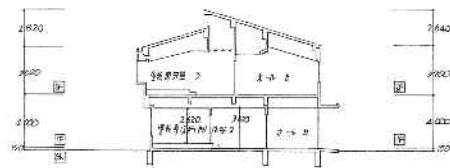
第一層 平面図



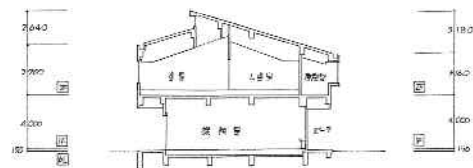
第一層 断面図



第二層 断面図

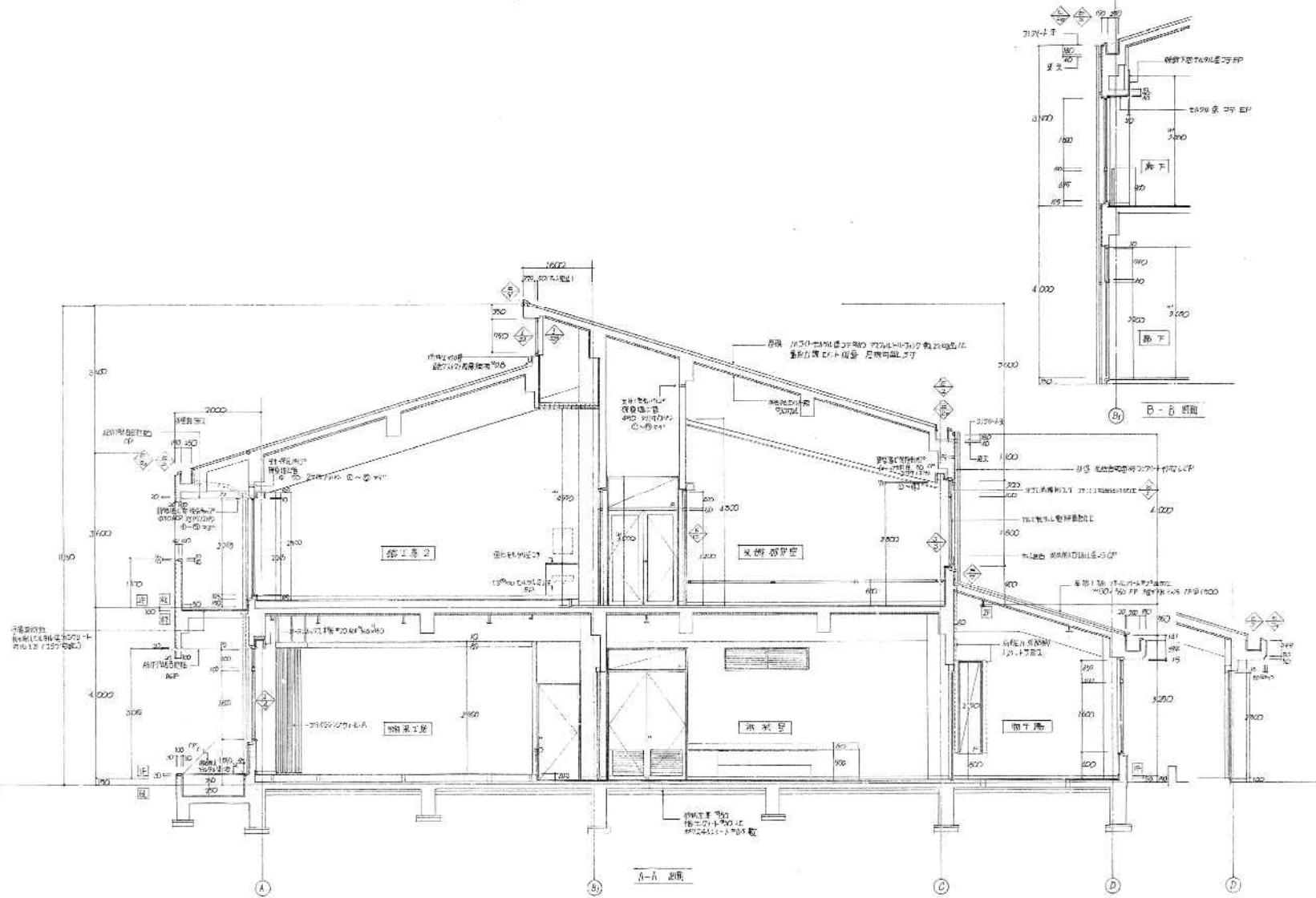


第三層 断面図



第四層 断面図

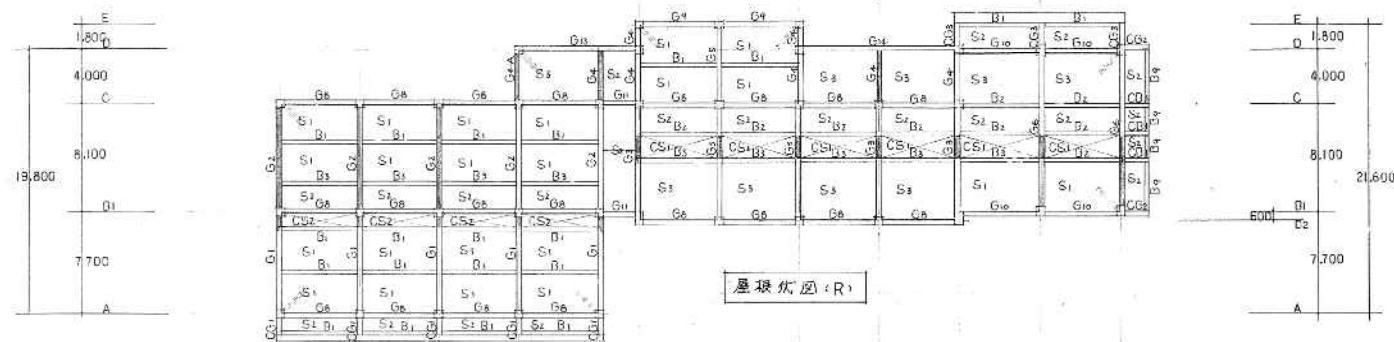
442



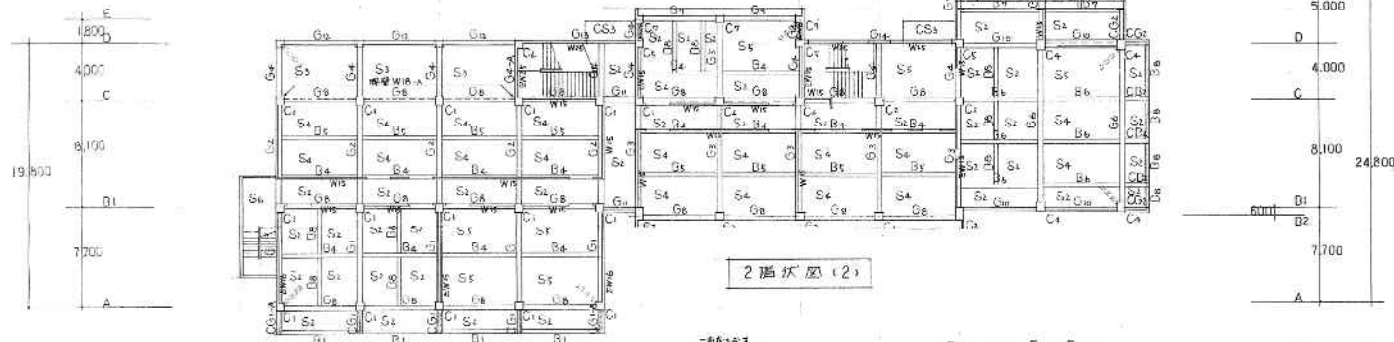
設計者	京都市立大学 建築技術センター	監理者	宇野浩吉	図面番号	210
施工者	たにし D プロジェクト	建築士	宇野浩吉	縮尺	1/20



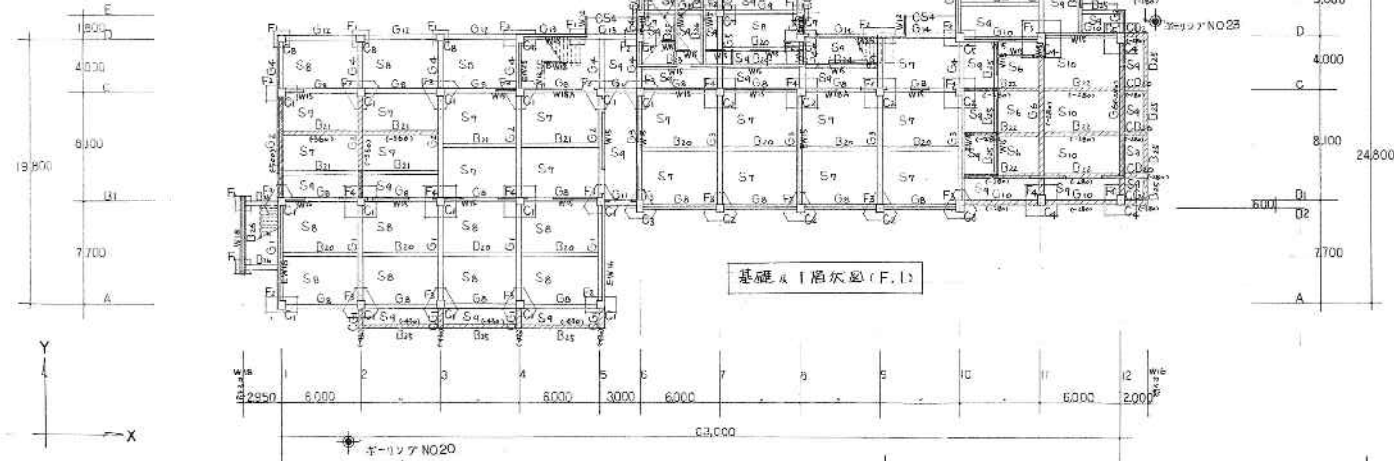




1層床( R1 )

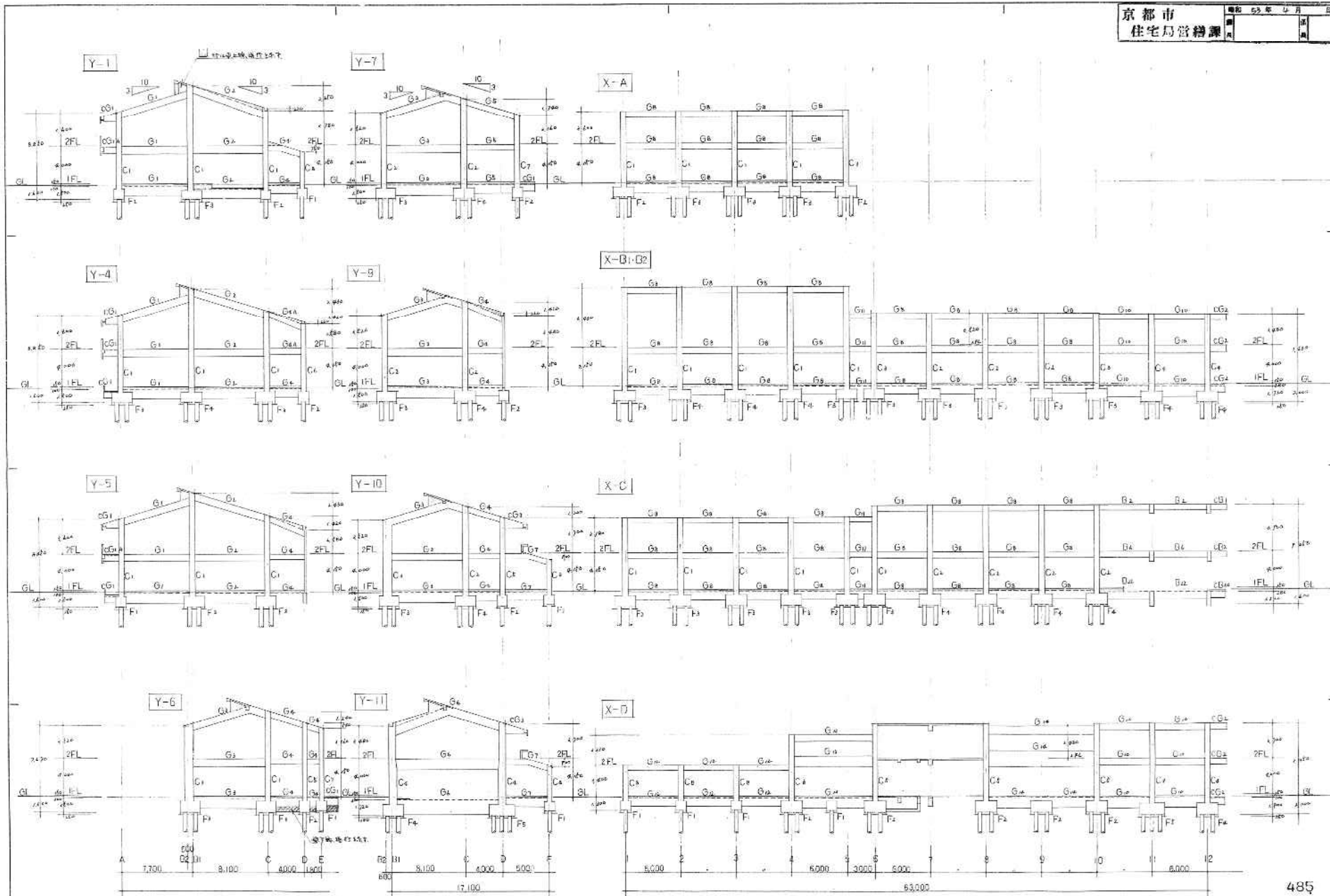


2層床( R2 )



基礎 & 1層床( F1 )

註)  
 ・本床面の柱の位置記号はW16とする。  
 ・//////印は地中掘下りを示し(1)内を指す。  
 ・GLへ地中掘下り時の可成り深さを示す。  
 ・■■■■印は梁上層の柱の打設を示す。



485

杭仕様

- 杭 PC100 (A種) φ 450 × 80 設計支持力 50<sup>KN</sup> (長岡)
- 杭打工法 予一打併用打込工法 杭打機械 DJ32 級以上  
並打杭打込確認の比 予一型式 60H 仕様
- 試験杭 a) 同一位置に設置する杭は施工時、設計支持力を得た時に場合により管理員承認の杭を本杭と認め、その位置の支持力を得た杭の工率を1割中割(1/2)の割合で認め、管理員承認の上その杭の指示を受けること。  
b) 試験杭位置は同一の杭 (試験杭 100-2表示 計8ヶ所)  
c) 試験杭長は 設計杭長 + 1,000mm 程度採用す。
- 報告書の提出 杭打1本ごとの最終入量と測定した記録を念のため杭打工事成績報告表に管理員承認後
- 杭打注意事項 a) 杭打の正確な測定は、杭打の際に杭芯と一致した位置で杭芯を測定すること。  
b) 杭の振れや杭芯のずれ等については管理員報告し、増杭等の指示を受けること。  
c) 隣杭との杭芯間隔は100mm以上の余裕を確保し、杭芯の傷や土中の障害物等を確認後、杭打作業を行う。隣杭との許容入量と管理員承認し承認を得た後、杭打作業を行うこと。
- その他 基礎下部杭仕様・杭間補強等の留意点については

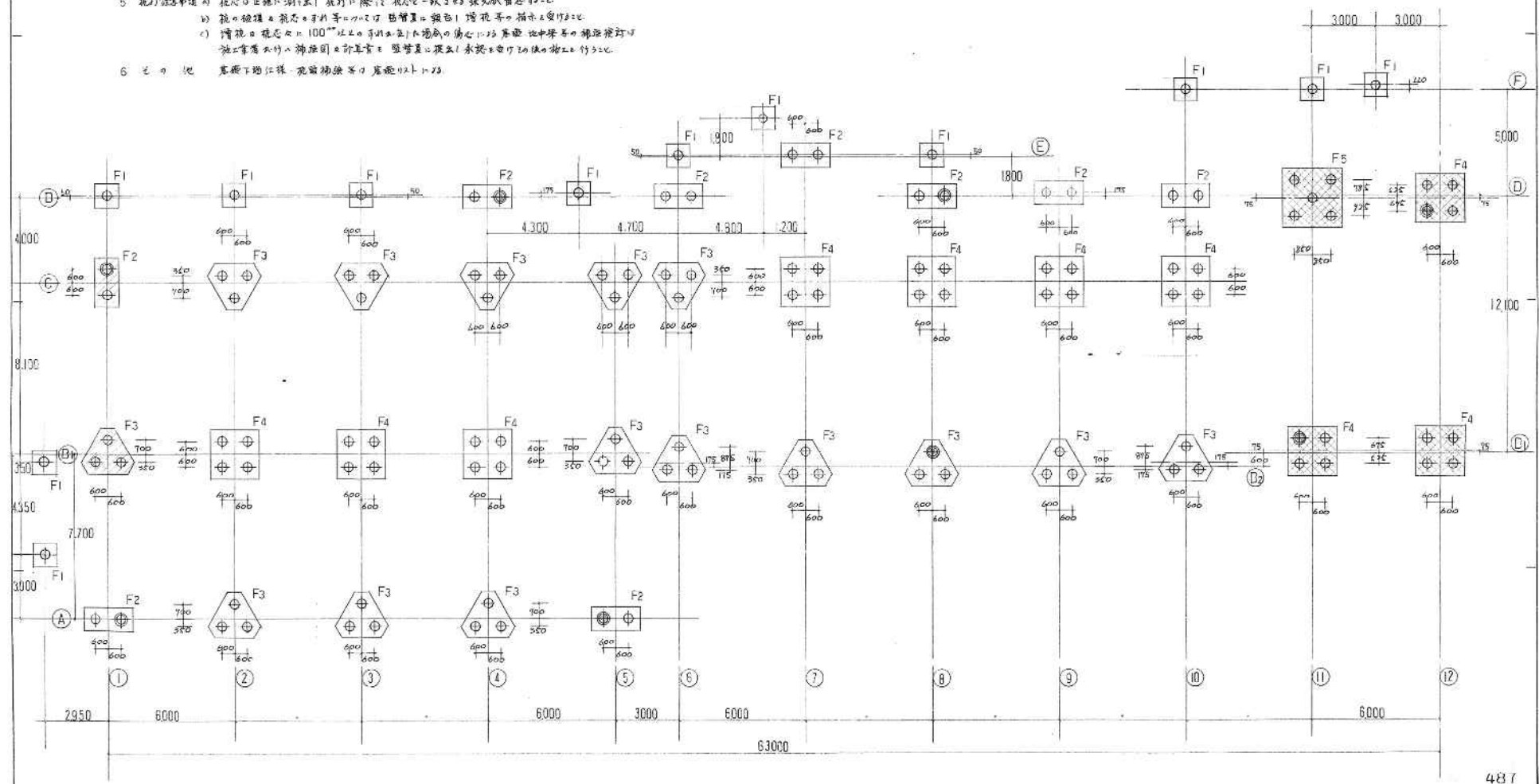
杭打数表 (外寸=標準)

杭長	本数*	予一打長
8,000	112	7,000
9,000 (試験杭)	8	なし
合計	120	

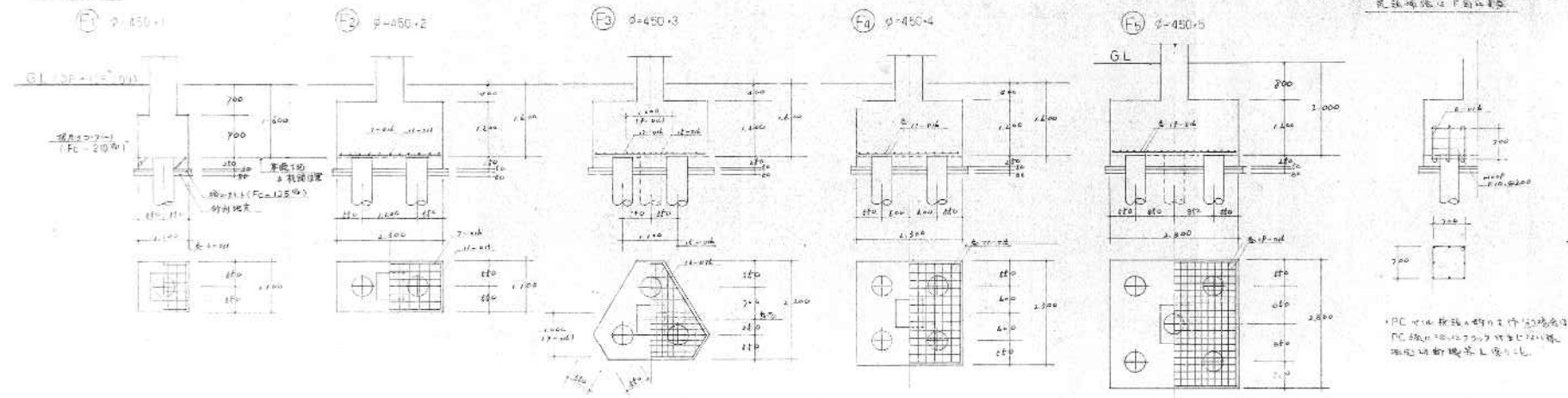
基礎伏図・杭芯線図

本図は、設計 GL の OP + 105,000 の時  
基礎下層

- 表示 - 1,600
- ▨ 表示 - 2,000
- ▩ 表示 - 1,700
- ◻ 表示 - 1,300



基礎リスト (注) 基礎下のGLは50mm下り法で一般基礎と同等の基礎構造とする。



488

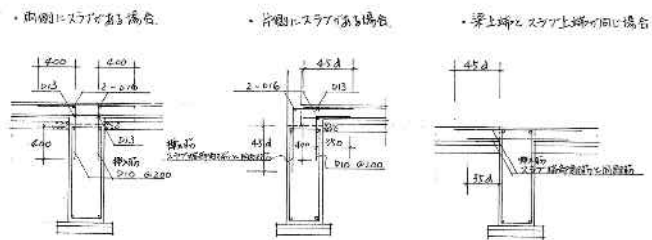
大梁断面表

将記号より筋の径はD25とする。  
 \*2CG1-Aは梁中600,STRD10 @100とする。\*2CG1-Bは梁中600,STRD10 @100とする。  
 STRはD10 @150とする。  
 断面は2-D10 (巾止筋はD10 @600)とする。

層別	G1		G2			G3			G4	G5			G6			G7			G8			G9		G10			G4-A	
	端部	中央	D1端	中央	C端	D2端	中央	C端	全断面	C端	中央	E端	D1端	中央	D2端	D端	中央	F端	15610端	中央	他端	端部	中央	D12端	中央	I1端	全断面	
R												全C端				/					全I端							
巾×底	400×750		400×750			400×750			400×600	400×600			450×900						350×600			350×500		350×700			250×600	
上端筋	2	2	5	2	4	2	4	6	3	3	2	3	5	3	2				3-D22			3-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	4-D22	2-D22
下端筋	2	3	4	3	3	2	4	5	3	2	2	2	3	5	3	2-D22			2-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	3-D19	
STR													D10 @100						D10 @200		D10 @200			D10 @200				
2階床									全上																			
巾×底	400×800		400×800			400×850			400×600	400×600			450×1,150			400×600			350×650			350×650		350×750			250×650	
上端筋	5	2	6	2	5	5	3	6	3	5	2	4	7	3	9	4	2	3	5-D22	2-D22	4-D22	5-D22	2-D22	5-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D19
下端筋	3	3	5	3	3	3	4	5	3	4	3	2	4	5	7	2	3	2	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4-D22	3-D22	3-D22	3-D19	
STR			D10 @125							D10 @150			D10 @200						D10 @200		D10 @200		D10 @200			D10 @200		
地中梁								全I端																				
巾×底	400×1,100		400×1,100			400×1,100			400×900	400×900			450×1,600			400×900			350×900			350×900		350×1,100				
上端筋	4	2	5	2	4	4	2	4	3	4	2	3	6	4	6	6	2	3	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	
下端筋	3	3	3	4	2	2	4	2	3	3	3	2	6	4	6	5	4	2	2-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	
STR										D10 @200			D10 @200						D10 @200		D10 @200		D10 @200			D10 @200		

層別	G11	G12		G13	G14	CG1	CG2	CG3	
	全断面	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	
R		/							
巾×底	350×500			350×650	350×900	400×850	400×650	400×650	400×850
上端筋	4-D22			4-D22	3-D22	4	6	4	4
下端筋	4-D22	3-D22	3-D22	4	2	4	2		
STR	D10 @150	D10 @200		D10 @200	D10 @200				
2階床									
巾×底	350×500	350×300		350×1,200	350×1,700	400×650	400×650		
上端筋	4-D22	3-D22	3-D22	6-D19	4-D19	5	4		
下端筋	4-D22	3-D22	3-D22	6-D19	4-D19	3	2		
STR	D10 @100	D10 @200		D10 @200	D10 @200				
地中梁									
巾×底	350×700	350×700		350×1,100	350×1,100	400×700	400×700	350×1,450	
上端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	4	3	3-D22	
下端筋	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2	2	3-D22	
STR	D10 @200	D10 @200		D10 @200	D10 @200				

基礎梁(大梁小梁)とスラブの取合は下図による。



489

柱断面表

※ 新設及び7-Fはスパイラル7-Fとする。  
 剛域内7-Fは D13@150 (物状は一振物)とする。  
 D1A筋は D10@600とする。

	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8
2階柱	全下	全下	全下		全下	全下	全下	
2								
D・D	600×600	600×600	600×960	600×760	600×600	600×600	600×600	
配筋	10-D22	12-D22	12-D22	10-D27, 4-D22	10-D22	10-D22	10-D22	
HOOP	D10@100	D10@100	D13@100	D13@100	D10@100	D10@100	D10@100	
1階柱								
1								
D・D	600×600	600×600	600×960	600×760	600×600	600×600	600×600	600×600
配筋	10-D22	12-D22	12-D22	4-D27, 4-D22	10-D22	10-D22	10-D22	10-D22
HOOP	D10@100	D10@100	D13@100	D13@100	D10@100	D10@100	D10@100	D10@100

小梁断面表

※ 新設及び主筋径は D22とする。  
 STRは D10@200とする。  
 腹筋は 2-D10 (中筋は D10@600)とする。

	B1		B2			B3		B4			B5		B6		B7		B8	B9	CB1	CB2
	端部	中央	5, 12端	中央	7~10端	端部	中央	外端	中央	内端	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面
R2 横梁																				
中×成	300×600		300×600		300×600		300×600		300×600		300×600		300×600		300×600		300×600	300×600	300×600	300×600
上端筋	3	2	5	2	4	3	2	5	2	4	3	2	4	2	4	2	2	3	5	4
下端筋	2	2	3	3	3	2	3	2	3	3	2	2	3	3	3	3	2	2	3	3
STR																	D10@150			
1階梁	B20		B21			B22		B23			B24		B25	CB20	B26					
	端部	中央	外端	中央	内端	端部	中央	6端	中央	7端	端部	中央	全断面	全断面	全断面					
中×成	300×660		300×660		360×760		300×700		300×700		300×700		300×660	360×660	350×650					
上端筋	3	2	3	2	5	4-D22	2-D22	4	2	5	5	3	2	4-D22	3					
下端筋	2	3	3	3	4	3-D22	4-D22	4	5	4	4	3	2	3-D22	3					
STR			D10@150		D10@150								D10@150							

490